

伊賀市スポーツ施設再編・整備計画
(伊賀市スポーツ施設ストック適正化計画)

資料編

2021（令和3）年5月

伊賀市

目 次

●市民アンケート調査結果

I. 調査の概要	1
1. 調査の目的	1
2. 調査の内容と配布・回収状況	1
3. 報告書掲載図表の留意点	1
II. 集計結果の概要	2
III. 集計結果（単純集計）	6
1. あなた自身についてお尋ねします。	6
(1) 問1 年 齢	6
(2) 問2 性 別	6
(3) 問3 職 業	7
(4) 問4 スポーツサークルやスポーツクラブなどの団体への加入状況	8
(5) 問5 お住まいの地域	9
2. あなたの日常のスポーツ活動の状況についてお尋ねします。	10
(1) 問6 スポーツ・運動の状況	10
(2) 問7 1日あたりのスポーツ・運動時間	10
(3) 問8 スポーツ・運動をする場合の場所	11
(4) 問9 利用頻度の高い公共・学校の体育施設	12
(5) 問10 公共・学校の体育施設での運動・スポーツ種目	21
(6) 問11 公共・学校の体育施設利用時の交通手段	23
3. 伊賀市における公共体育施設（学校体育施設を除く）の再編のあり方についてお尋ねします。	24
(1) 問12 市内にある公共体育施設の満足度	24
(2) 問13 不満と答えた理由	26
(3) 問14 サービス維持のために見直すべき体育施設	30
(4) 問15 体育施設の適正配置で重視すべき視点	34
(5) 問16 本市の将来のために充実させるべき体育施設	38
4. 伊賀市における公共体育施設（学校体育施設を除く）のより望ましい施設利用についてお尋ねします。	42
(1) 問17 体育施設面以外で市民に使い易くするためのサービス	42
IV. 集計結果（クロス集計）	48
1. 問5 お住まいの地域 × 問9 利用頻度の高い公共・学校体育施設	48
2. 問8 スポーツ・運動をする場合の場所 × 問16 本市の将来のために充実させるべき体育施設	56

3.	問10 公共・学校の体育施設での運動・スポーツ種目	×	問16 本市の将来のために充実させるべき体育施設	58
4.	問14 サービス維持のために見直すべき体育施設	×	問15 体育施設の適正配置で重視すべき視点	61

●伊賀市公共施設総合管理計画（抜粋）	64
--------------------	----

Ⅰ. 調査の概要

1. 調査の目的

本調査は、市民のスポーツ振興や健康づくりの向上と、維持可能な施設保有に留意したスポーツ施設再配置計画の策定に向けて、公共施設最適化計画の趣旨を踏まえつつ、伊賀市生涯スポーツ都市宣言との調和を図る体育施設の在り方を検討するため実施したアンケート調査票の集計と分析等を行うことを目的とします。

2. 調査の内容と配布・回収状況

本調査の内容は、「日常のスポーツ活動の状況」、「公共体育施設の再編のあり方」、「公共体育施設のより望ましい施設利用」に関する市民意識を把握することとします。

調査対象者は、本市の住民基本台帳に登録された18歳以上80歳以下の市民から、性別・年齢・地域人口比割を勘案しながら無作為抽出をし、2,222人を抽出しました。

配布・回収の日程は、平成30年8月20日に配布開始、同年9月30日までに回収しました。

アンケート票は、郵送法による無記名式質問紙調査とし、2,222票配布し782票回収、回収率は35.2%となっています。地域別の配布・回収状況は以下の通りとなります。

表 地域別の配布・回収状況

	上野地	野島ヶ原地	大山田地	いがまち地域	阿山地	青山地	不明	6地区合計
配布数 (票)	1,387	56	125	239	173	242	—	2,222
回収数 (票)	468	24	55	86	63	84	2	782
回収率 (%)	33.7	42.9	44.0	36.0	36.4	34.7	—	35.2
無効票 (票)	0	0	0	0	0	0	0	0
有効回答票数 (票)	468	24	55	86	63	84	2	782
有効回答率 (%)	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

3. 報告書掲載図表の留意点

- ・本報告書の1. や(1)、①などの項目名は、アンケートの設問項目内容を一部要約・省略して使用しています。なお、上記項目名下の「 」内に、アンケート票上の設問内容を掲載しています。
- ・複数回答の設問（選択肢を複数選択可能な設問）の場合、表とグラフ中の割合(%)は、各選択肢の回答者数をその設問の回答者数で除しているため、各選択肢の割合(%)を合計しても100%にはなりません。
- ・単一回答の設問（選択肢を1つのみ選択する設問）の場合、各選択肢の割合の合計は本来100%となりますが、四捨五入の関係で各選択肢の割合の合計値が100%前後になることがあります。
- ・グラフ内と「Ⅱ. 集計結果の概要」の選択肢名は、一部表現を省略しています。アンケート票上の選択肢の記載内容は、表中の選択肢の表現を参照してください。
- ・その他の意見等、回答者が記載している内容については、一部表現等を要約し、表又はグラフの下に 【その他】 などとして掲載しています。
- ・問12～問17については、問6の「4 ほとんどしない」と「不明」を除いた372人に対して別途集計したものを参考として掲載しています（問12～16は②、問17はイを参照）。

II. 集計結果の概要

「Ⅲ. 集計結果」の概要は以下の通りとなります。

■ あなた自身についてお尋ねします。

○【年 齢】

「50～59歳以下」(24.3%)と「40～49歳以下」(22.5%)で過半数近くを占めています。

○【性 別】

女性(53.8%)が過半数を超えています。

○【職 業】

「会社員」(37.5%)の割合が最も高く、次いで「パート・アルバイト」(16.0%)、「農林業」(15.9%)などとなっています。

○【団体への加入状況】

「加入する考えはない」(60.0%)が過半数を超えています。「加入したい」(17.4%)と「加入している」(16.6%)を合わせた34.0%が加入意向者です。

○【お住まいの地域】

「上野地域」(59.8%)が過半数を超えています。次いで「いがまち地域」(11.0%)、「青山地域」(10.7%)などとなっています。

■ あなたの日常のスポーツ活動の状況についてお尋ねします。

○【スポーツ・運動の状況】

「ほとんどしない」(51.9%)が過半数を超えています。次いで「週1～2日程度」と「月1～3日程度」(各18.8%)、「週3～4日以上」(10.0%)となっています。

○【1日あたりのスポーツ・運動時間】

「30分未満」(59.5%)が過半数を超えています。次いで「30分～1時間」(17.1%)、「1～2時間」(11.6%)などとなっています。

○【スポーツ・運動をする場合の場所】

「自宅」(40.3%)の割合が最も高くなっています。次いで「公共体育施設(学校を含む)」(26.0%)と「民間の体育施設(ジム・プール・ゴルフ上等)」(24.2%)を合わせた50.2%の人が体育施設を利用しています。

○【利用頻度の高い公共・学校の体育施設】…利用頻度の高い施設順にしています

・【競技場及びグラウンド】

過半数を超える(50.7%)方が利用し、そのうち「学校体育施設グラウンド」(32.0%)が3割を超えて最も高くなっています。

・【体育館】

過半数近く(45.8%)の方が利用し、そのうち「学校体育施設体育館」(61.3%)が6割を超え、次いで「伊賀市民体育館」(23.7%)などとなっています。

・【プール】

2割弱(18.2%)の方が利用し、そのうち「阿山B&Gプール」(51.4%)利用が過半数を超え、「大山田B&Gプール」(48.6%)が過半数近くとなっています。

・【テニスコート】

1割強(14.3%)の方が利用し、そのうち「上野運動公園テニスコート」(51.7%)が過半超え、「ゆめが丘テニスコート」(44.8%)が過半近くとなっています。

・【武道館等】

1割弱(7.9%)の方が利用し、そのうち「伊賀上野武道館」(68.8%)が7割弱、次いで「学校体育施設武道館」(31.3%)となっています。

・【ゲートボール場】

1割弱(3.0%)の方が利用し、そのうち「しらさぎ運動公園屋外ゲートボール場」(83.3%)が8割を超え、次いで「いがまちスポーツセンターゲートボール場」「阿山第1運動公園屋内ゲートボール場」(共に33.3%)となっています。

・【その他施設】

3割強(34.0%)の方が利用し、そのうち「三重県立ゆめドームうえの」(72.5%)が7割を超え、次いで「その他施設」(23.2%)などとなっています。

○【公共・学校の体育施設での運動・スポーツ種目】

「ジョギング・ランニング・ウォーキング」(21.7%)の割合が最も高くなっています。そのほか「サッカー」(17.7%)、「水泳」(13.8%)などとなっています。

○【公共・学校の体育施設利用時の交通手段】

「自家用車」(91.6%)が9割を超えています。

■ 公共体育施設（学校体育施設は除く）の再編のあり方について（以下は正規集計のみ）

○【市内にある公共体育施設の満足度】

「普通」(59.0%)が過半を超えています。次いで「不満」(17.5%)、「やや満足している」(9.5%)、「満足している」(8.3%)となっています。

○【不満と答えた理由】

「やりたい種目の設備がない」「その他」(共に32.1%)の割合が最も高くなっています。次いで「老朽化している」(30.7%)、「施設までの距離が遠い」(21.9%)となっています。

○【サービス維持のために見直すべき体育施設】

「利用者が少ない」施設(61.1%)と「老朽化が著しい」(54.0%)が共に過半を超えています。次いで「類似公共体育施設が近隣にある」施設と「施設利用者が地域住民に限定され全市的な利用ができていない」施設(26.0%)の割合が高くなっています。

○【体育施設の適正配置で重視すべき視点】

「十分な駐車場が確保できる」(64.8%)が、6割強となっています。次いで「多種類の施設を集中して配置」(35.5%)、「施設の集中による人件費などの経費削減」(33.9%)などとなっています。

○【本市の将来のために充実させるべき体育施設】

「体育館」(46.8%)が過半近くを占めています。次いで「プール」(37.2%)、「サッカー場」(32.2%)などとなっています。

■伊賀市における公共体育施設（学校体育施設を除く）のより望ましい施設利用について
（以下は正規集計のみ）

○【体育施設面以外で市民に使い易くするためのサービス】

・【使用時間の単位の変更（1時間単位→30分単位）】

「いいえ」（60.7%）が6割強となっています。

・【施設が使用できる時間を延長】

「はい」（65.5%）が7割弱となっています。

・【施設予約時のインターネット利用】

「はい」（78.6%）が8割弱となっています。

・【施設の情報提供をもっと増やす】

「はい」（85.8%）が9割弱となっています。

・【その他】

「運営」面で他施設との連携に関連するもの、「情報」面で活動・利用情報に関連するもの、「施設」面で施設の活用に関連するもの、「利用・予約」面で「予約」に関連するもの、などがあげられています。

■クロス集計：問5 お住まいの地域

× 問9 利用頻度の高い公共・学校体育施設

○【競技場及びグラウンド】

どの地域も「競技場及びグラウンド」が立地する地域の住民の利用を主としながら、各地域とも上野地域に立地する施設の利用者も一定程度見られます。

○【プール】

どの地域も「プール」が立地する地域の住民の利用者が主となっています。ただし、上野地域では、総利用者数は上野地域以外の2施設の方が多く、「プール」が地域内に立地していないがまち地域では、回答者数が少ないため参考となりますが、阿山・大山地域の利用が主となっています。

○【テニスコート】

どの地域も「テニスコート」の立地する地域の住民の利用が主となっています。

○【体育館】

どの地域も「体育館」の立地する地域の住民の利用者数が主で、特に上野地域では、上野地域内に立地する「伊賀市民体育館」利用が7割弱と割合が高くなっています。また、「学校体育施設体育館」の利用も各地域とも一定程度みられ、「体育館」の立地していないがまち地域では、「学校体育施設体育館」利用が8割弱となっています。

○【武道館等】

「武道館」はすべて上野地域に立地していることと、全体的に利用者が少ないため地域ごとの特性はありませんでした。

○【ゲートボール場】

「ゲートボール場」の利用者が全体的に少ないため、地域ごとの特性はありませんでした。なお、上野地域においては、上野地域内の「しらさぎ運動公園屋外ゲートボール場」の利用が多くなっています。

○【その他施設】

どの地域も「その他施設」が立地する地域の住民の利用者数が主となっています。
また、どの地域からも上野地域の「三重県立ゆめドームうえの」の利用が多くなっています。

■クロス集計：問8 スポーツ・運動をする場合の場所

× 問16 本市の将来のために充実させるべき体育施設

○【スポーツ・運動する場所ごとの集計】

どのスポーツ・運動する場所を選択した人も、将来のために充実させるべき体育施設として「体育館」が50%前後となっています。そのほか「プール」や「サッカー場」を2番目にあげているところが多くなっています。

○【将来のために充実させるべき体育施設ごとの集計】

「テニスコート」を除く8施設で、自宅で運動をする人の回答が概ね40～50%台と最も高く、「テニスコート」では「公共体育施設」「民間の体育施設」が30%台と割合が高くなっています。2番目の傾向としては、運動する場所の「公共体育施設」／「民間の体育施設」に対して該当する充実させるべき体育施設が4施設／5施設と、「民間の体育施設」の方がやや対応数が多くなっています。

■クロス集計：問10 公共・学校の体育施設での運動・スポーツ種目

× 問16 本市の将来のために充実させるべき体育施設

○【公共・学校の体育施設での運動・スポーツごとの集計】

どの運動・スポーツ種目も、概ね“そのスポーツに関わる体育施設”の充実を望む傾向にあります。内訳をみると、どの運動・スポーツも概ね共通してその次に「体育館」の割合が高くなっています。

○【将来のために充実させるべき体育施設ごとの集計】

どの体育施設も、概ね「体育館」と「その他」に関わる運動・スポーツ種目の割合が高くなる傾向にあります。

■クロス集計：問14 サービス維持のために見直すべき体育施設

× 問15 体育施設の適正配置で重視すべき視点

○【サービス維持のために見直すべき体育施設ごとの集計】

重視すべき点として1番目に「十分な駐車所の確保できる場所」の割合が最も高くなっています。概ね2・3番目に「運動公園のように多種類の施設を集中配置」か「施設の集中による維持管理の人件費などの経費削減」の割合が高くなっています。

○【体育施設の適正配置で重視すべき視点ごとの集計】

見直すべき体育施設の条件として「利用者が少ない」「老朽化が著しい」が1番目か2番目に来ています。次いで、「類似公共体育施設が近隣にある」や「一人あたりの維持管理経費型の施設に比べて高い」の割合が高くなっています。

Ⅲ. 集計結果(単純集計)

1. あなた自身についてお尋ねします。

(1) 問 1 年 齢

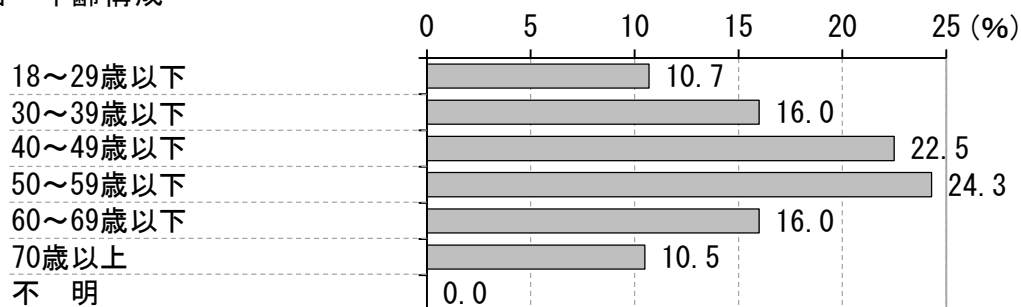
問 1 年齢をお答えください

回答者の年齢構成は、「50～59歳以下」が24.3%と割合が最も高く、次いで「40～49歳以下」の22.5%で、この2つで概ね全回答者の過半数近くを占めています。

表 年齢構成

	回答者 数(人)	構成比 (%)
1 18～29歳以下	84	10.7
2 30～39歳以下	125	16.0
3 40～49歳以下	176	22.5
4 50～59歳以下	190	24.3
5 60～69歳以下	125	16.0
6 70歳以上	82	10.5
不 明	0	0.0
合 計	782	100.0

図 年齢構成



(2) 問 2 性 別

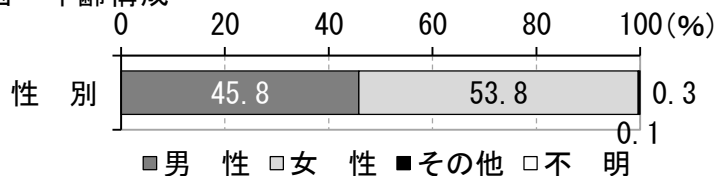
問 2 性別をお答えください

回答者の性別は、女性が53.8%と過半数を超えています。男性は45.8%となっています。

表 年齢構成

	回答者 数(人)	構成比 (%)
1 男 性	358	45.8
2 女 性	421	53.8
3 その他	1	0.1
不 明	2	0.3
合 計	782	100.0

図 年齢構成



(3) 問3 職業（複数回答）

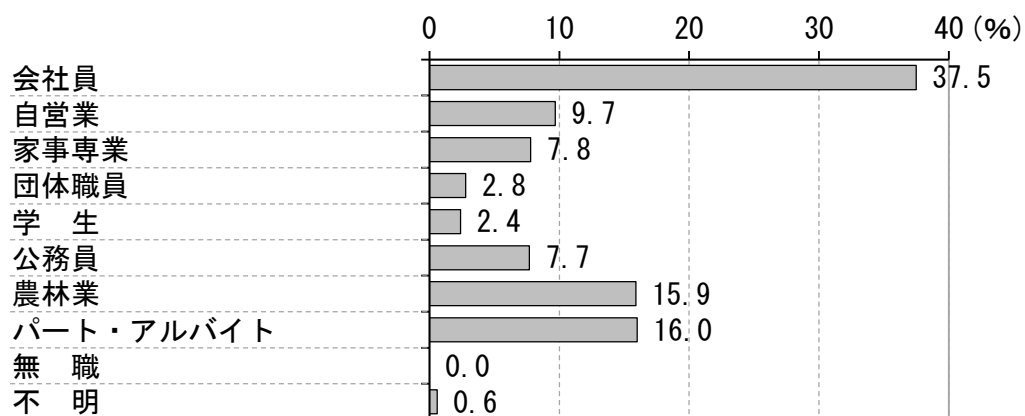
問3 職業をお答えください

回答者の職業は、「会社員」が37.5%と割合が最も高く、次いで「パート・アルバイト」が16.0%、「農林業」が15.9%などとなっています。

表 職 業

	回答者 数(人)	構成比 (%)
1 会社員	293	37.5
2 自営業	76	9.7
3 家事専業	61	7.8
4 団体職員	22	2.8
5 学 生	19	2.4
6 公務員	60	7.7
7 農林業	124	15.9
8 パート・アルバイト	125	16.0
9 無 職	0	0.0
不 明	5	0.6
合 計	782	100.0

図 職 業



(4) 問4 スポーツサークルやスポーツクラブなどの団体への加入状況

問4 スポーツサークルやスポーツクラブなどの団体への加入状況についてお答えください。

団体への加入状況は、「加入する考えはない」が60.0%と割合が最も高く、過半を超えています。「加入していないが加入したいと考えている」(17.4%)と「加入している」(16.6%)を合わせた34.0%が加入意向がある方となっています。

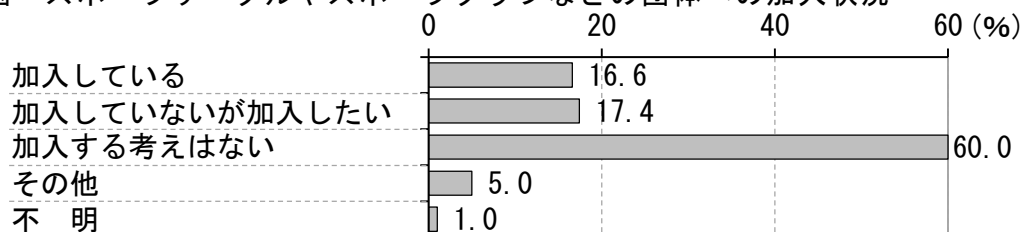
表 スポーツサークルやスポーツクラブなどの団体への加入状況

	回答者 数(人)	構成比 (%)
1 加入している	130	16.6
2 加入していないが加入したいと考えている	136	17.4
3 加入する考えはない	469	60.0
4 その他	39	5.0
不 明	8	1.0
合 計	782	100.0

【その他】

いずれ加入したい(4人)／以前加入していた(4人)／時間がなくて今は加入できない(4人)／その他の団体に参加(4人)／今はどうするかわからない(2人)／加入したい団体がない(2人)／その他の活動団体に参加(2人)／加入したいが加入しにくい／知らなかった／時々加入している

図 スポーツサークルやスポーツクラブなどの団体への加入状況



(5) 問5 お住まいの地域

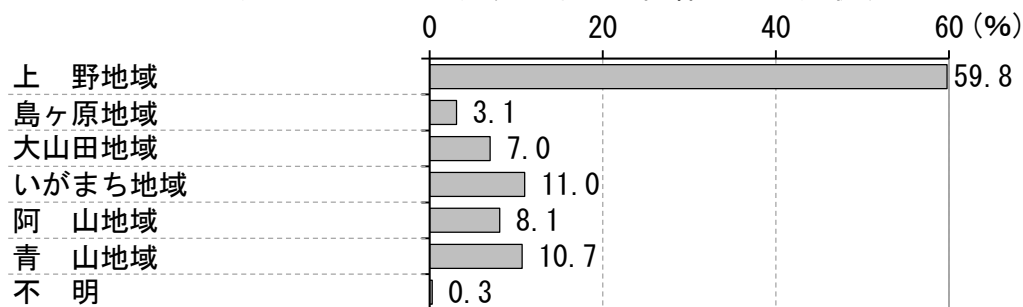
問5 お住まいの地域をお答えください

回答者のお住まいの地域は、「上野地域」が59.8%と割合が最も高く、過半を超えています。次いで「いがまち地域」が11.0%、「青山地域」が10.7%などとなっています。

表 スポーツサークルやスポーツクラブなどの団体への加入状況

	回答者 数(人)	構成比 (%)
1 上野地域	468	59.8
2 島ヶ原地域	24	3.1
3 大山田地域	55	7.0
4 いがまち地域	86	11.0
5 阿山地域	63	8.1
6 青山地域	84	10.7
不明	2	0.3
合計	782	100.0

図 スポーツサークルやスポーツクラブなどの団体への加入状況



2. あなたの日常のスポーツ活動の状況についてお尋ねします。

(1) 問6 スポーツ・運動の状況

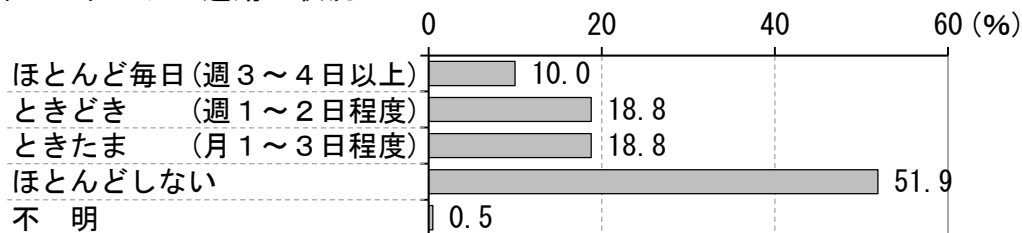
問6 あなたのスポーツ・運動の状況はどのくらいですか。

回答者のスポーツ・運動の状況は、「ほとんどしない」が51.9%と割合が最も高く、過半を超えています。次いで「ときどき（週1～2日程度）」と「ときたま（月1～3日程度）」が各18.8%となっています。また「ほとんど毎日（週3～4日以上）」は10.0%となっています。

表 スポーツ・運動の状況

	回答者 数(人)	構成比 (%)
1 ほとんど毎日(週3～4日以上)	78	10.0
2 ときどき(週1～2日程度)	147	18.8
3 ときたま(月1～3日程度)	147	18.8
4 ほとんどしない	406	51.9
不 明	4	0.5
合 計	782	100.0

図 スポーツ・運動の状況



(2) 問7 1日あたりのスポーツ・運動時間

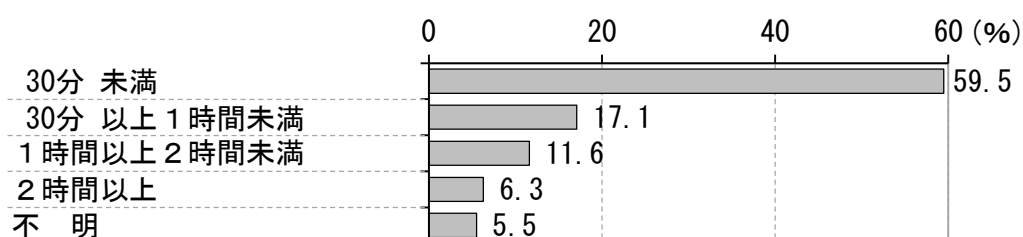
問7 あなたの1日あたりのスポーツ・運動時間はどれくらいですか。

1日あたりのスポーツ・運動時間は、「30分未満」が59.5%と割合が最も高く、過半を超えています。次いで「30分以上1時間未満」が17.1%、「1時間以上2時間未満」が11.6%などとなっています。

表 1日あたりのスポーツ・運動時間

	回答者 数(人)	構成比 (%)
1 30分 未満	465	59.5
2 30分 以上 1時間未満	134	17.1
3 1時間以上 2時間未満	91	11.6
4 2時間以上	49	6.3
不 明	43	5.5
合 計	782	100.0

図 1日あたりのスポーツ・運動時間



(3) 問 8 スポーツ・運動をする場合の場所（複数回答）

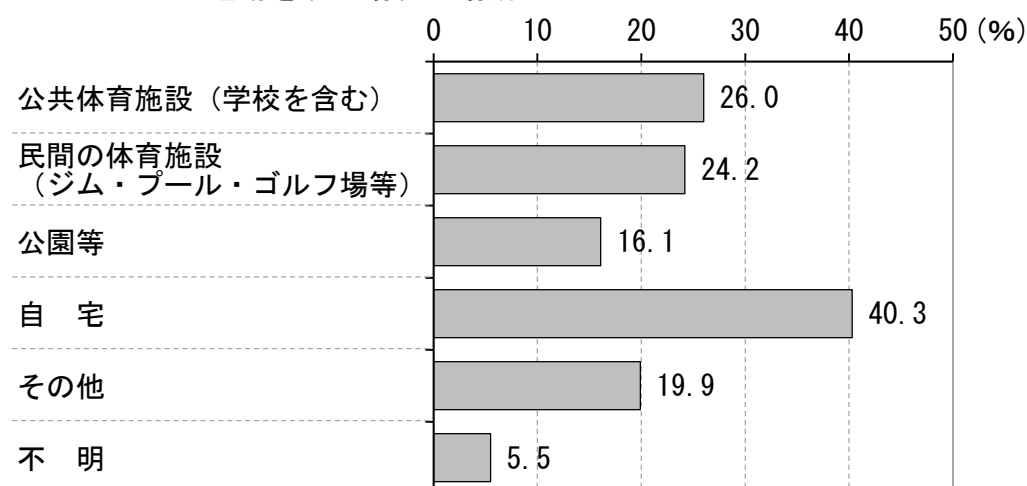
問 8 あなたがスポーツ・運動をする場合どのような場所で行いますか。該当するものすべてに○を付けてください。

スポーツ・運動をする場所については、「自宅」が40.3%と割合が最も高くなっています。次いで「公共体育施設（学校を含む）」が26.0%、「民間の体育施設（ジム・プール・ゴルフ上等）」が24.2%となっており、この両者を合わせた50.2%の人が、体育施設を利用した運動を行っています。

表 スポーツ・運動をする場合の場所

	回答者 数(人)	構成比 (%)
1 公共体育施設（学校を含む）	203	26.0
2 民間の体育施設（ジム・プール・ゴルフ場等）	189	24.2
3 公園等	126	16.1
4 自 宅	315	40.3
5 その他	156	19.9
不 明	43	5.5
合 計	782	100.0

図 スポーツ・運動をする場合の場所



(4) 問9 利用頻度の高い公共・学校の体育施設（問8－1回答者：複数回答）

問9 問8で「1 公共体育施設（学校を含む）」と回答した方にお尋ねします。
次の公共体育施設及び学校体育施設で利用頻度の高い体育施設（観戦等を含む）はどこですか。該当するものすべてに○を付けてください。（平成29年4月以降に利用したもの）

① 競技場及びグラウンド

「競技場及びグラウンド」の利用状況は、50.7%と過半を超える方が利用しています。

「競技場及びグラウンド」利用者が利用する施設の詳細を見ると（（参考）構成比を参照）、「学校体育施設グラウンド」利用が32.0%と割合が最も高く、次いで「上野運動公園競技場」の24.3%、「しらさぎ運動公園多目的グラウンド」の19.4%、「いがまちスポーツセンターグラウンド」の18.4%などとなっています。

表 利用頻度の高い体育施設：競技場及びグラウンド

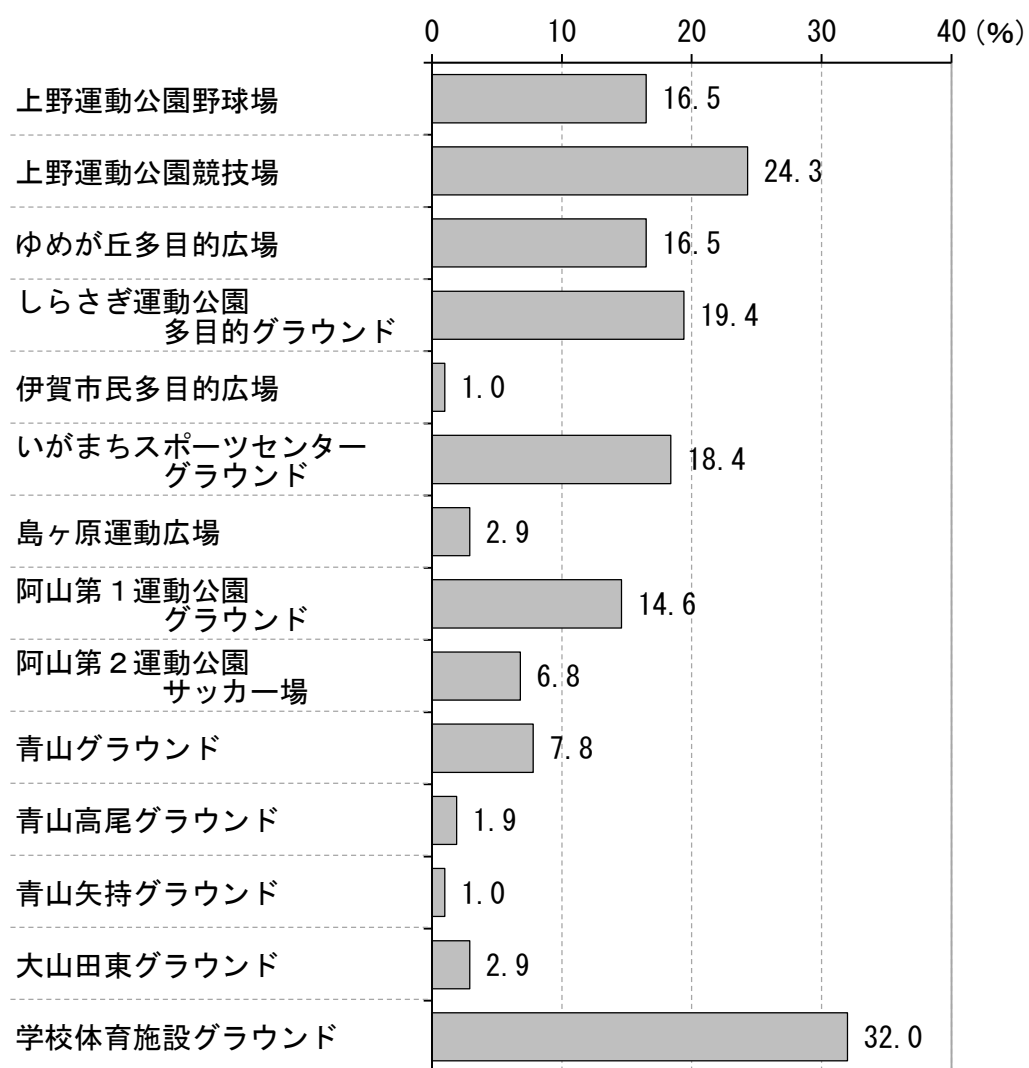
	回答者 数(人)	構成比 (%)	(参考) 構成比 (%)
1 上野運動公園野球場	17	8.4	16.5
2 上野運動公園競技場	25	12.3	24.3
3 ゆめが丘多目的広場	17	8.4	16.5
4 しらさぎ運動公園多目的グラウンド	20	9.9	19.4
5 伊賀市民多目的広場	1	0.5	1.0
6 いがまちスポーツセンターグラウンド	19	9.4	18.4
7 島ヶ原運動広場	3	1.5	2.9
8 阿山第1運動公園グラウンド	15	7.4	14.6
9 阿山第2運動公園サッカー場	7	3.4	6.8
10 青山グラウンド	8	3.9	7.8
11 青山高尾グラウンド	2	1.0	1.9
12 青山矢持グラウンド	1	0.5	1.0
13 大山田東グラウンド	3	1.5	2.9
14 学校体育施設グラウンド	33	16.3	32.0
競技場及びグラウンドの利用(回答)者数	103	50.7	100.0
利用頻度が低い又は未利用者数(無回答者数)	100	49.3	—
問8で1の回答者数	203	100.0	—

注1：構成比は、問8で1の回答者数(203人)に対する割合。

注2：（参考）構成比は、当該施設の利用者数(103人)に対する割合となります。

グラフは、この（参考）構成比を用いて作成しています。

図 利用頻度の高い体育施設：競技場及びグラウンド



② プール

「プール」の利用状況は、18.2%の方が利用しています。

「プール」利用者が利用する施設の詳細を見ると（（参考）構成比を参照）、「阿山B & G プール」が51.4%と割合が最も高く、過半を超えています。次いで「大山田B & G プール」の48.6%、「上野運動公園プール」の24.3%となっています。

表 利用頻度の高い体育施設：プール

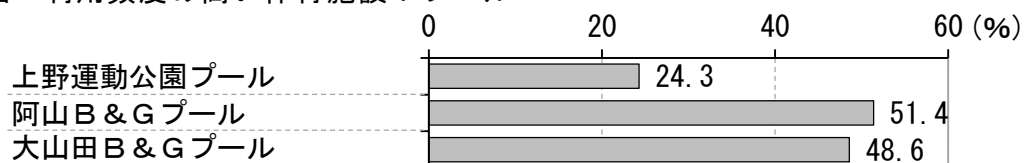
	回答者 数(人)	構成比 (%)	(参考) 構成比 (%)
15 上野運動公園プール	9	4.4	24.3
16 阿山B & G プール	19	9.4	51.4
17 大山田B & G プール	18	8.9	48.6
プールの利用(回答)者数	37	18.2	100.0
利用頻度が低い又は未利用者数(無回答者数)	166	81.8	—
問8で1の回答者数	203	100.0	—

注1：構成比は、問8で1の回答者数(203人)に対する割合。

注2：（参考）構成比は、当該施設の回答者数(37人)に対する割合となります。

グラフは、この（参考）構成比を用いて作成しています。

図 利用頻度の高い体育施設：プール



③ テニスコート

「テニスコート」の利用状況は、14.3%の方が利用しています。

「テニスコート」利用者が利用する施設の詳細を見ると（（参考）構成比を参照）、
「上野運動公園テニスコート」利用が51.7%と割合が最も高く、過半を超えています。
次いで「ゆめが丘テニスコート」が44.8%と過半近くを占め、「いがまちスポーツセンターテニスコート」の24.1%などとなっています。

表 利用頻度の高い体育施設：テニスコート

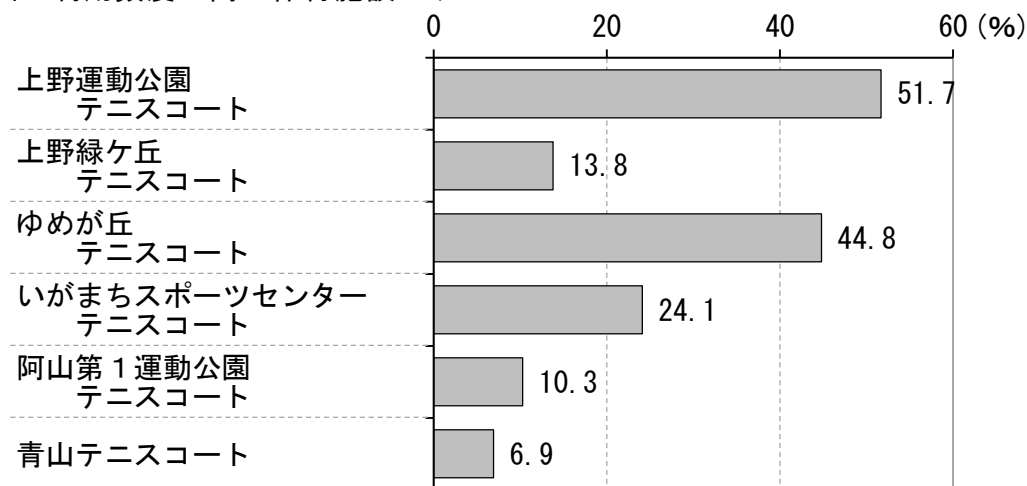
	回答者数(人)	構成比(%)	(参考)構成比(%)
18 上野運動公園テニスコート	15	7.4	51.7
19 上野緑ヶ丘テニスコート	4	2.0	13.8
20 ゆめが丘テニスコート	13	6.4	44.8
21 いがまちスポーツセンターテニスコート	7	3.4	24.1
22 阿山第1運動公園テニスコート	3	1.5	10.3
23 青山テニスコート	2	1.0	6.9
テニスコートの利用(回答)者数	29	14.3	100.0
利用頻度が低い又は未利用者数(無回答者数)	174	85.7	—
問8で1の回答者数	203	100.0	—

注1：構成比は、問8で1の回答者数(203人)に対する割合。

注2：（参考）構成比は、当該施設の回答者数(29人)に対する割合となります。

グラフは、この（参考）構成比を用いて作成しています。

図 利用頻度の高い体育施設：テニスコート



④ 体育館

「体育館」の利用状況は、45.8%と過半近くの方が利用しています。

「体育館」利用者が利用する施設の詳細を見ると（（参考）構成比を参照）、「学校体育施設体育館」利用が61.3%と割合が最も高く、6割を超えています。次いで「伊賀市民体育館」の23.7%、「大山田B & G体育館」の16.1%などとなっています。

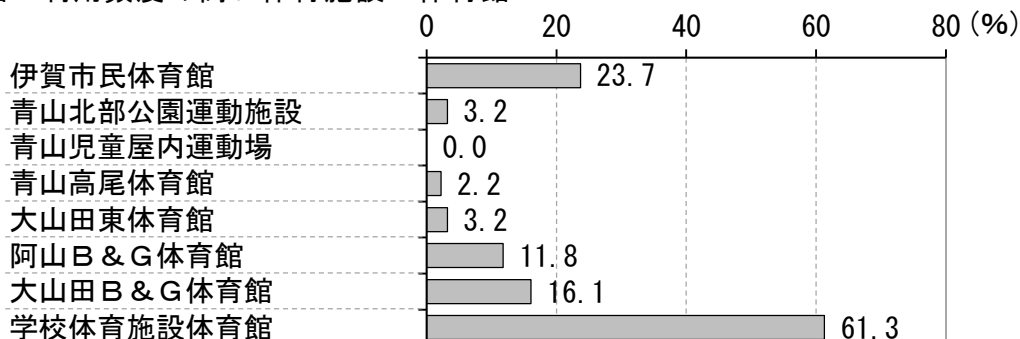
表 利用頻度の高い体育施設：体育館

	回答者 数(人)	構成比 (%)	(参考) 構成比 (%)
24 伊賀市民体育館	22	10.8	23.7
25 青山北部公園運動施設	3	1.5	3.2
26 青山児童屋内運動場	0	0.0	0.0
27 青山高尾体育館	2	1.0	2.2
28 大山田東体育館	3	1.5	3.2
29 阿山B & G体育館	11	5.4	11.8
30 大山田B & G体育館	15	7.4	16.1
31 学校体育施設体育館	57	28.1	61.3
体育館の利用(回答)者数	93	45.8	100.0
利用頻度が低い又は未利用者数(無回答者数)	110	54.2	—
問8で1の回答者数	203	100.0	—

注1：構成比は、問8で1の回答者数(203人)に対する割合。

注2：（参考）構成比は、当該施設の回答者数(93人)に対する割合で、単位は(%)となります。グラフは、この（参考）構成比を用いて作成しています。

図 利用頻度の高い体育施設：体育館



⑤ 武道館等

「武道館等」の利用状況は、7.9%の方が利用しています。

「武道館等」利用者が利用する施設の詳細を見ると（（参考）構成比を参照）、「伊賀上野武道館」利用が68.8%と割合が最も高く、7割弱となっています。次いで「学校体育施設武道館」の31.3%、「伊賀市民弓道場」の6.3%となっています。

表 利用頻度の高い体育施設：武道館等

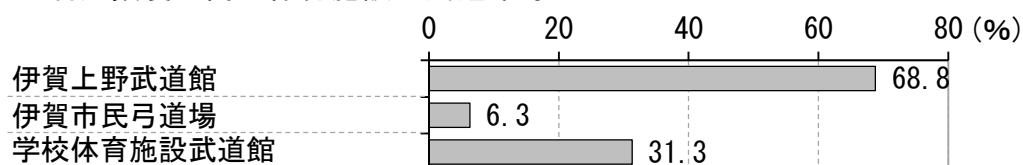
	回答者数(人)	構成比(%)	(参考)構成比(%)
32 伊賀上野武道館	11	5.4	68.8
33 伊賀市民弓道場	1	0.5	6.3
34 学校体育施設武道館	5	2.5	31.3
武道館等の利用(回答)者数	16	7.9	100.0
利用頻度が低い又は未利用者数(無回答者数)	187	92.1	—
問8で1の回答者数	203	100.0	—

注1：構成比は、問8で1の回答者数(203人)に対する割合。

注2：（参考）構成比は、当該施設の回答者数(16人)に対する割合となります。

グラフは、この（参考）構成比を用いて作成しています。

図 利用頻度の高い体育施設：武道館等



⑥ ゲートボール場

「ゲートボール場」の利用状況は、3.0%の方が利用しています。

「ゲートボール場」利用者が利用する施設の詳細を見ると（（参考）構成比を参照）、
「しらさぎ運動公園屋外ゲートボール場」利用が83.3%と割合が最も高く、8割を超えています。次いで「いがまちスポーツセンターゲートボール場」と「阿山第1運動公園屋内ゲートボール場」が共に33.3%となっています。

表 利用頻度の高い体育施設：ゲートボール場

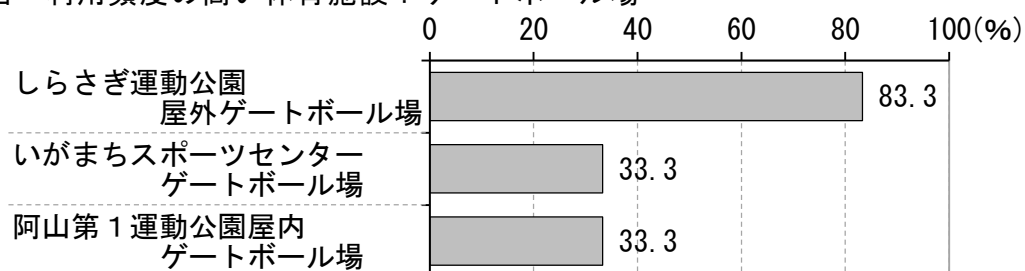
	回答者数(人)	構成比(%)	(参考)構成比(%)
35 しらさぎ運動公園屋外ゲートボール場	5	2.5	83.3
36 いがまちスポーツセンターゲートボール場	2	1.0	33.3
37 阿山第1運動公園屋内ゲートボール場	2	1.0	33.3
ゲートボール場の利用(回答)者数	6	3.0	100.0
利用頻度が低い又は未利用者数(無回答者数)	197	97.0	—
問8で1の回答者数	203	100.0	—

注1：構成比は、問8で1の回答者数(203人)に対する割合。

注2：（参考）構成比は、当該施設の回答者数(6人)に対する割合となります。

グラフは、この（参考）構成比を用いて作成しています。

図 利用頻度の高い体育施設：ゲートボール場



⑦ その他施設

「その他施設」の利用状況は、34.0%の方が利用しています。

「その他施設」利用者が利用する施設の詳細を見ると（（参考）構成比を参照）、
「三重県立ゆめドームうえの」利用が72.5%と割合が最も高く7割を超えています。
次いで「その他施設」が23.2%などとなっています。

「その他施設」に記載された回答のうち、「青山保健センター」（2人）、「三重県上野森林公園」（2人）など、市内で7施設があげられています。そのほか、県内市外で4施設、県外で2施設があげられています。

表 利用頻度の高い体育施設：その他施設

	回答者 数(人)	構成比 (%)	(参考) 構成比 (%)
38 いがまちスポーツセンタートレーニング室	2	1.0	2.9
39 阿山B & Gトレーニングルーム	3	1.5	4.3
40 大山田B & Gトレーニングルーム	3	1.5	4.3
41 阿山B & G海洋センター艇庫	0	0.0	0.0
42 大山田B & G海洋センター艇庫	0	0.0	0.0
43 三重県立ゆめドームうえの	50	24.6	72.5
44 三重県上野射撃場	1	0.5	1.4
45 都市公園内施設（ターゲット・バードゴルフ）	0	0.0	0.0
46 その他施設	16	7.9	23.2
その他施設の利用(回答)者数	69	34.0	100.0
利用頻度が低い又は未利用者数(無回答者数)	134	66.0	—
問8で1の回答者数	203	100.0	—

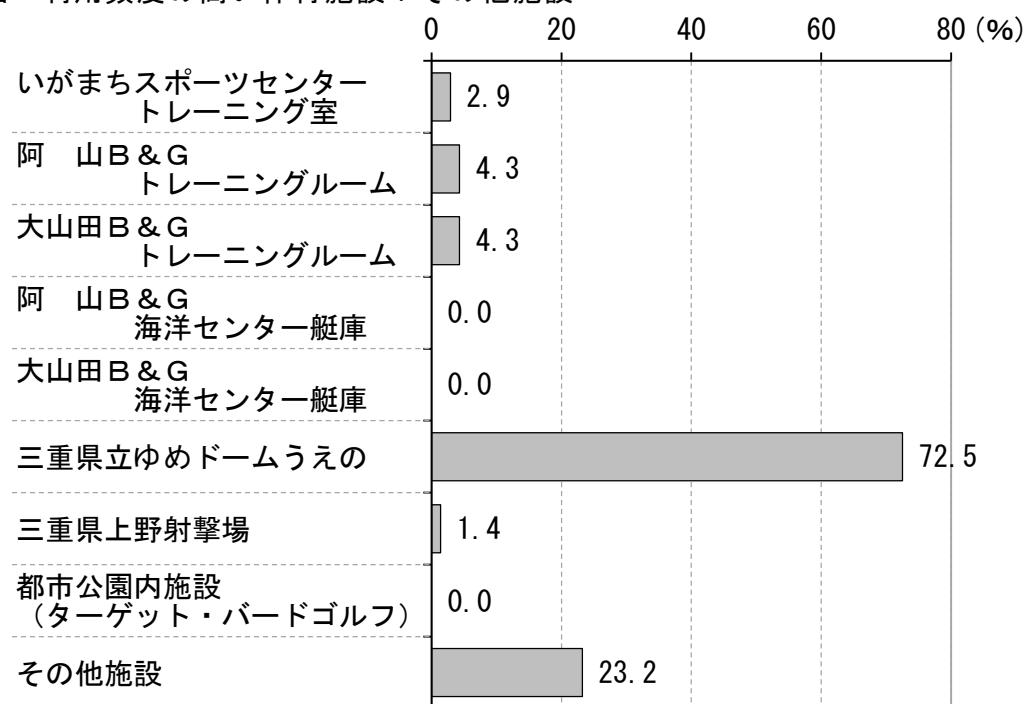
注1：構成比は、問8で1の回答者数(203人)に対する割合。

注2：（参考）構成比は、当該施設の回答者数(69人)に対する割合で、単位は(%)となります。グラフは、この(参考)構成比を用いて作成しています。

【その他施設】

青山保険センター(2人)／三重県上野森林公園(2人)／せせらぎ運動公園グラウンド／地域のグラウンド／西柘植小学校／ハイトピア伊賀／伊賀市文化会館／サオリーナ(津市)／津市青少年野外活動センター(津市)／三重大学体育館(津市)／ヘルスプラザ(四日市市)／ドラゴンハット(滋賀県)／国立曽爾青少年の家(奈良県)

図 利用頻度の高い体育施設：その他施設



(5) 問10 公共・学校の体育施設での運動・スポーツ種目（問8－1回答者：複数回答）

問10 あなたが公共の体育施設及び学校体育施設で運動・スポーツをする場合、どのような種目を行いますか。該当するものすべてに○をつけてください。

公共・学校の体育施設での運動・スポーツ種目は、「ジョギング・ランニング・ウォーキング」が21.7%と割合が最も高くなっています。次いで「その他」の18.2%、「サッカー」の17.7%、「水泳」の13.8%、「テニス」の11.3%、「卓球」の10.3%などとなっています。

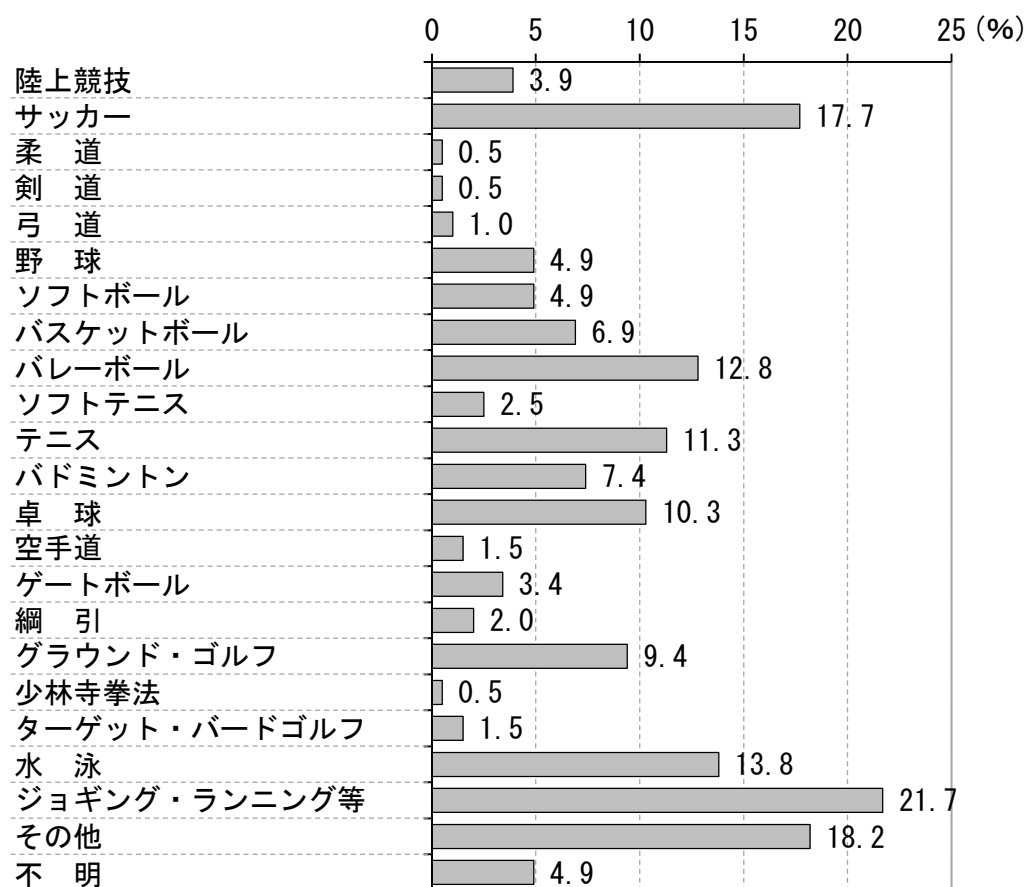
また、その他には書き込む欄がありませんでしたが、一部の方から「ヨガ」、「骨盤ストレッチ」のフィットネス系や「フットサル」があげられています。

表 公共・学校の体育施設での運動・スポーツ種目

	回答者 数(人)	構成比 (%)
1 陸上競技	8	3.9
2 サッカー	36	17.7
3 柔 道	1	0.5
4 剣 道	1	0.5
5 弓 道	2	1.0
6 野 球	10	4.9
7 ソフトボール	10	4.9
8 バスケットボール	14	6.9
9 バレーボール	26	12.8
10 ソフトテニス	5	2.5
11 テニス	23	11.3
12 バドミントン	15	7.4
13 卓 球	21	10.3
14 空手道	3	1.5
15 ゲートボール	7	3.4
16 綱 引	4	2.0
17 グラウンド・ゴルフ	19	9.4
18 少林寺拳法	1	0.5
19 ターゲット・バードゴルフ	3	1.5
20 水 泳	28	13.8
21 ジョギング・ランニング・ウォーキング	44	21.7
22 その他	37	18.2
不 明	10	4.9
合 計	203	100.0

参考：【その他】 ヨガ／骨盤ストレッチ／フットサル

図 公共・学校の体育施設での運動・スポーツ種目



(6) 問11 公共・学校の体育施設利用時の交通手段（問8－1回答者：複数回答）

問11 あなたが公共体育施設及び学校体育施設を利用する場合の交通手段はなんですか。

公共・学校の体育施設利用時の交通手段は、「自家用車」が91.6%と割合が最も高く、9割を超えています。次いで「徒歩」の4.9%などとなっています。

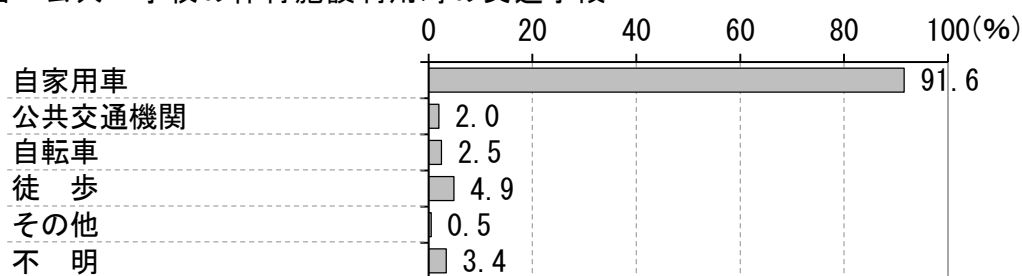
その他では、「施設の送迎バス」があげられています。

表 公共・学校の体育施設利用時の交通手段

	回答者 数(人)	構成比 (%)
1 自家用車	186	91.6
2 公共交通機関	4	2.0
3 自転車	5	2.5
4 徒 歩	10	4.9
5 その他	1	0.5
不 明	7	3.4
合 計	203	100.0

【その他】 施設の送迎バス

図 公共・学校の体育施設利用時の交通手段



3. 伊賀市における公共体育施設（学校体育施設は除く）の再編のあり方についてお尋ねします。

(1) 問12 市内にある公共体育施設の満足度

問12 市内にある公共体育施設に満足していますか。

① 問6の選択肢「4 ほとんどしない」と「不明」の回答者を含めた集計

市内にある公共体育施設の満足度は、「普通」が59.0%と割合が最も高く、過半を超えています。次いで「不満」の17.5%、「やや満足している」の9.5%、「満足している」の8.3%となっています。

表 市内にある公共体育施設の満足度

	回答者 数(人)	構成比 (%)
1 満足している	65	8.3
2 やや満足している	74	9.5
3 普通	461	59.0
4 不満	137	17.5
不明	45	5.8
合 計	782	100.0

図 市内にある公共体育施設の満足度



② 参考：問6の選択肢「4 ほとんどしない」と「不明」の回答者を除いた集計

市内にある公共体育施設の満足度は、「普通」が50.5%と割合が最も高く、過半を超えています。次いで「不満」の22.6%、「やや満足している」の13.2%、「満足している」の10.5%となっています。

前項①と比較すると、「普通」(59.0%→50.5%：－8.5ポイント)が減少しています。また、「不満」(17.5%→22.6%：＋5.1ポイント)と「やや満足している」(9.5%→13.2%：＋3.7ポイント)、「満足している」(8.3%→10.5%：＋2.2ポイント)で増加しています。

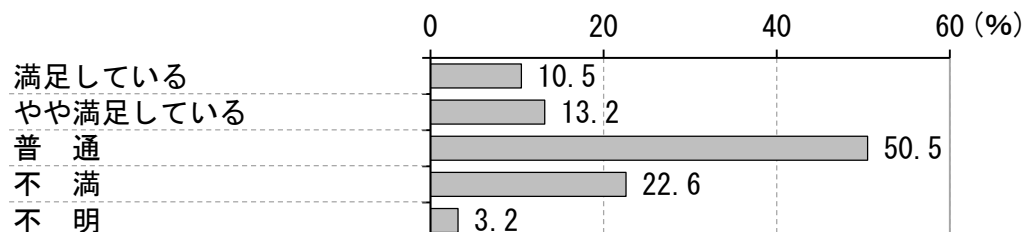
この“不満”が増加しているのは、利用者の視点から何らかの問題点等を感じている、“やや満足・満足”が増加しているのは、行っている運動と公共体育施設の設備等とが合っている人が多いためではないかと推察されます。

表 市内にある公共体育施設の満足度

	回答者 数(人)	構成比 (%)	構成比 (%)
1 満足している	39	10.5	8.3
2 やや満足している	49	13.2	9.5
3 普通	188	50.5	59.0
4 不満	84	22.6	17.5
不明	12	3.2	5.8
合計	372	100.0	100.0

※①再掲

図 市内にある公共体育施設の満足度



(2) 問13 不満と答えた理由（問12－4回答者：複数回答）

問13 問12で「4 不満」と回答した方にお尋ねします。不満と答えた理由はなんですか。

① 問6の選択肢「4 ほとんどしない」と「不明」の回答者を含めた集計

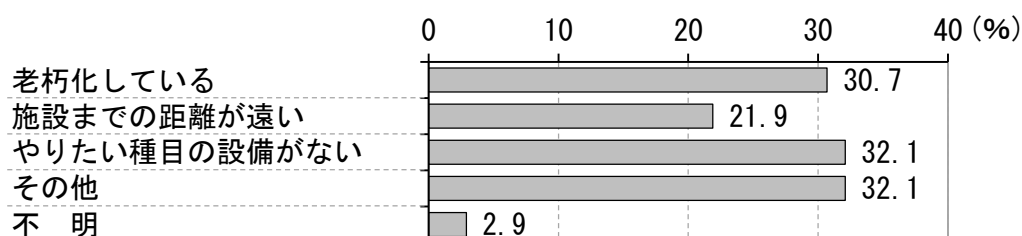
不満と答えた理由は、「やりたい種目の設備がない」と「その他」が共に32.1%と割合が最も高く、次いで「老朽化している」の30.7%、「施設までの距離が遠い」の21.9%となっています。

その他は、次頁にその要約を掲載しています。最も不満として多いのは「施設」(21人)について「数・配置」(15人)に関連する不満の内容が多くあげられています。そのほか施設の「利用」(9人)について「利用方法」(6人)に対する不満、「施設の情報等」(8人)に対する不満、「設備」(7人)について「維持管理」(6人)に対する不満などがあげられています。

表 不満と答えた理由

	回答者 数(人)	構成比 (%)
1 老朽化している	42	30.7
2 施設までの距離が遠い	30	21.9
3 やりたい種目の設備がない	44	32.1
4 その他	44	32.1
不 明	4	2.9
問12で4の回答者数	137	100.0

図 不満と答えた理由



【その他】

不満の対象	不満の方向	不満の内容	具体的な不満の内容(要約)
施 設 (21人)	数・配置(15人)	施設不足 (9人)	人工芝サッカー場がない(2人)
			サッカー場を増やして欲しい
			駅前等に施設がない
			屋内プールがない
			クラブハウス・更衣室がない
			硬式ボールが使える施設が少ない
			施設が充実していない
			まともな施設が少ない
	施設の偏り (2人)	偏っている	
		ゲートボール場ばかり	
	施設過多	減らすべき	
	施設の消滅	まめの館がなくなった	
	施設の立地	近くにない	
施設の利用停止	プールが使えなくなった		
施設規模(4人)	狭さ(4人)	伊賀上野武道館のヨガの部屋が狭い	
		学校施設の野球スペースが狭い	
		しらさぎ公園が狭い	
部屋の狭さ			
管 理(2人)	管理不足 (2人)	汚い	
		整備されていない	
利 用 (9人)	利用方法(6人)	利用制約 (4人)	一般市民に貸さない
			利用規約のわかりにくさ
			利用許可が難しい
			利用制約の多さ
	利用予約 (2人)	朝・夕利用できる時間帯がない	
県外利用者との取り合いで徹夜になる			
利用料金(3人)	高さ(3人)	—	
情 報 (8人)	施設の情報等 (8人)	施設・設備情報不足(4人)	どのような種目があるか
			使用方法がわからない
			何があるのか不明
			利用情報が少ない
		場所等不明 (3人)	施設の存在を知らない
			場所・内容がわからない
場所がわかりにくい			
利用情報不足	勧誘がない		
設 備 (7人)	維持管理(6人)	維持管理不足 (4人)	上野運動公園テニスコートのネットの修繕期間が長い
			グラウンドがぼこぼこ
			トイレが汚い
			用具の老朽化、トレーニングマシンが少ない、トイレの様式が少ない
	施設改善	陸上競技場を砂からゴムに変更して欲しい	
		長期の修繕期間	上野運動公園テニスコート・いがまちスポーツセンターテニスコート
設備不足	—	プールの飛び込み台がない	
運 用 (3人)	運用方法(3人)	イベント不足	名張の様なスポーツフェス
		指導不足	ジム等の使い方の指導をして欲しい
		ソフト不足	ソフトの不足
職員対応	職員の態度	—	—

② 参考：問6の選択肢「4 ほとんどしない」と「不明」の回答者を除いた集計

不満と答えた理由は、「その他」が35.7%と割合が最も高く、次いで「老朽化している」の33.3%、「やりたい種目の施設がない」の21.4%となっています。

前項①と比較すると、「その他」(32.1%→35.7%：+3.6ポイント)と「老朽化している」(30.7%→33.3%：3.4ポイント)の割合がやや増加しています。これは、運動している人にとって“利用している施設の設備等の老朽化”に気付きやすかったことが要因ではないかと推察されます。

また、「やりたい種目の設備がない」(32.1%→25.0%：-7.1ポイント)と「施設までの距離が遠い」(21.9%→21.4%：-0.5ポイント)との割合が共に2割台と若干高いものの、どちらも減少となっています。この減少傾向は、回答者が運動をしている人であるため、自ら行う運動種目がある人、運動のために何らかの公共体育施設を利用している人がやや多くなっているためではないかと推察されます。

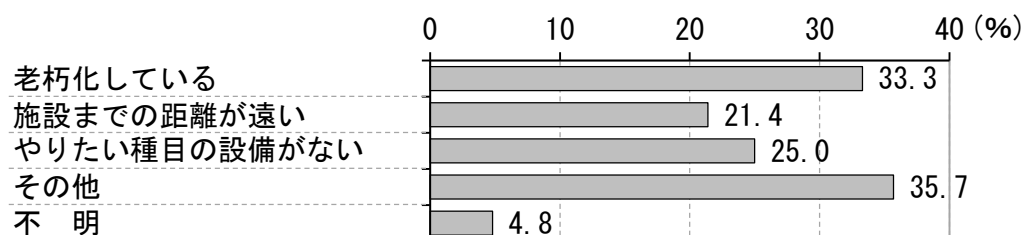
その他は、次頁にその要約を掲載しています。最も不満として多いのは「施設」(16人)について「数・配置」(11人)に関連する不満の内容が多くあげられています。そのほか「利用」(8人)について「利用方法」(6人)に対する不満、「施設の情報等」(5人)に対する不満、「設備」(5人)について「維持管理」(5人)に対する不満などがあげられています。

表 不満と答えた理由

	回答者 数(人)	構成比 (%)	構成比 (%)
1 老朽化している	28	33.3	30.7
2 施設までの距離が遠い	18	21.4	21.9
3 やりたい種目の設備がない	21	25.0	32.1
4 その他	30	35.7	32.1
不 明	4	4.8	2.9
問12で4の回答者数	84	100.0	100.0

※①再掲

図 不満と答えた理由



【その他】

不満の対象	不満の方向	不満の内容	具体的な不満の内容(要約)
施設 (16人)	数・配置(11人)	施設不足 (8人)	人工芝サッカー場がない(2人)
			サッカー場を増やして欲しい
			駅前等に施設がない
			屋内プールがない
			クラブハウス・更衣室がない
			硬式ボールが使える施設が少ない
			まともな施設が少ない
		施設過多	減らすべき
		施設の立地	近くにない
		施設の利用停止	プールが使えなくなった
利用 (8人)	施設規模(4人)	狭さ(4人)	伊賀上野武道館のヨガの部屋が狭い
			学校施設の野球スペースが狭い
			しらさぎ公園が狭い
			部屋の狭さ
	管 理	管理不足	整備されていない
			一般市民に貸さない
			利用規約のわかりにくさ
情報 (5人)	利用方法(6人)	利用制約(4人)	利用許可が難しい
			利用制約の多さ
			朝・夕利用できる時間帯がない
		利用予約(2人)	県外利用者との取り合いで徹夜になる
	利用料金(2人)	高さ(2人)	ー
設備 (5人)	施設の情報等 (5人)	施設・設備情報不足(3人)	使用方法がわからない
			何があるのか不明
			利用情報が少ない
		場所等不明	場所・内容がわからない
運用 (2人)	維持管理(5人)	維持管理不足 (4人)	勧誘がない
			上野運動公園テニスコートのネットの修繕期間が長い
			グラウンドがぼこぼこ
			トイレが汚い
運用 (2人)	運用方法(2人)	指導不足 ソフト不足	用具の老朽化、トレーニングマシンが少ない、トイレの様式が少ない
			上野運動公園テニスコート・いがまちスポーツセンターテニスコート
運用 (2人)	運用方法(2人)	指導不足 ソフト不足	ジム等の使い方の指導をして欲しい
			ソフトの不足

(3) 問14 サービス維持のために見直すべき体育施設（3つまで）

問14 今後、少子高齢化の進展に伴い、人口と税収が減少していくことが予想され、今あるすべての体育施設を維持することが難しくなります。サービスを維持していくためには、どのような施設を見直すべきだと思いますか。あなたの考えに近いものを3つまで選んでください。

① 問6の選択肢「4 ほとんどしない」と「不明」の回答者を含めた集計

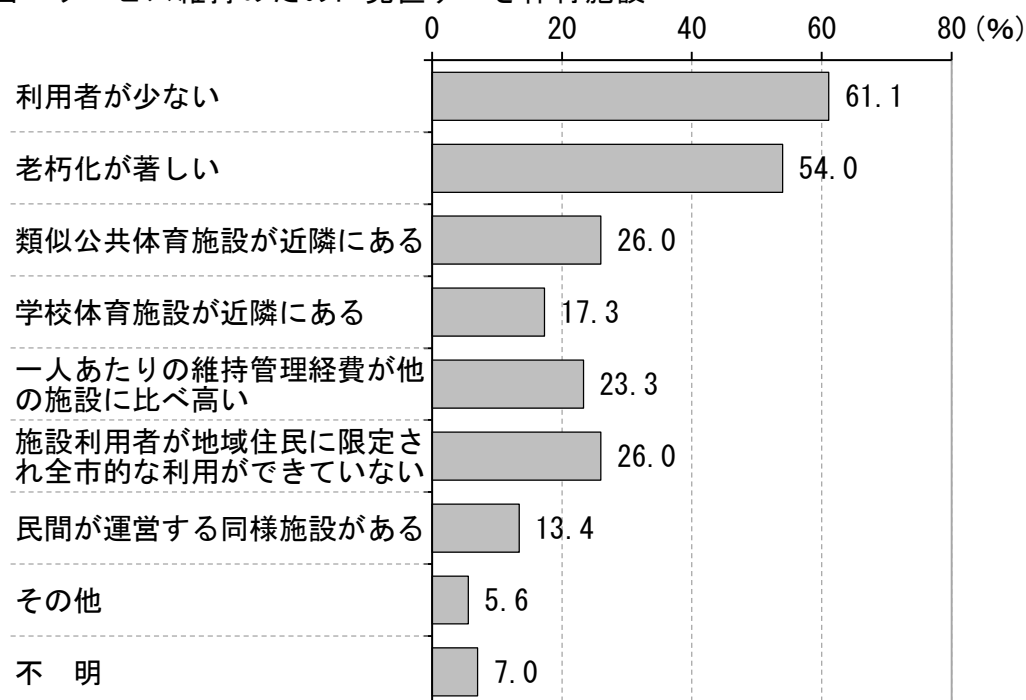
サービス維持のために見直すべき体育施設は、「利用者が少ない」施設が61.1%と割合が最も高く、次いで「老朽化が著しい」施設が54.0%で、この2つは共に過半を超えています。次いで「類似公共体育施設が近隣にある」施設と「施設利用者が地域住民に限定され全市的な利用ができていない」施設が共に26.0%などとなっています。

その他は、次頁にその要約を掲載しています。回答の多くは、施設が存続するために必要な視点や見直すべき施設の視点的な回答が多く、特に「施設・設備」（7人）や「運用」（5人）などといった部分に意見があげられています。

表 サービス維持のために見直すべき体育施設

	回答者 数(人)	構成比 (%)
1 利用者が少ない	478	61.1
2 老朽化が著しい	422	54.0
3 類似公共体育施設が近隣にある	203	26.0
4 学校体育施設が近隣にある	135	17.3
5 一人あたりの維持管理経費が他の施設に比べ高い	182	23.3
6 施設利用者が地域住民に限定され全市的な利用ができていない	203	26.0
7 民間が運営する同様施設がある	105	13.4
8 その他	44	5.6
不 明	55	7.0
合 計	782	100.0

図 サービス維持のために見直すべき体育施設



【その他】

見直しの対象	見直しの視点(要約)
施設・設備 (7人)	大人から子供まで使える施設の少なさ。
	学校体育施設は、見直しの対象から分ける。
	カフェ等食事施設の併設。
	けがの起きにくい設備。
	高齢者対応施設より、ジュニア育成のための施設に力を入れる。
	年齢層に応じた整備。施設の定期的な改善。
運 用(5人)	バリアフリー化。
	イベントが少ない。アピールの不足。
	競技の種類や目的にもよるが、どこでもできる創意工夫。
	施設の集約。
	市民や市民以外も利用できるようにして、施設収益を上げる。
人件費(4人)	体育施設を使ったイベントが少ない。
	市職員の給与の高さ。
	施設管理人数の削減による経費削減。利用者の偏りの改善。
	施設削減よりも人件費カットによって維持。
維持管理費 (3人)	施設内の経費節約（利用者が少ないのにアルバイトが多いなど）
	維持管理費の見直し。施設の多さ。
	市施設の民間外部委託化。
	利用者の少なさ、維持管理費の高さ、利用者が地域限定状況であることを問題から排除。
立 地(3人)	交通の利便な所の施設の維持。
	便利な場所に立地（公共交通の）。
	便利な場所に立地。
情 報(2人)	施設活用のために情報発信が重要。
	利用者への情報共有化が不十分。
利用料(2人)	使用料の値上げ。
	利用の少ない施設の使用料の値上げ。

② 参考：問6の選択肢「4 ほとんどしない」と「不明」の回答者を除いた集計

サービス維持のために見直すべき体育施設は、「利用者が少ない」施設が57.8%と割合が最も高く、次いで「老朽化が著しい」施設が54.6%で、この2つは共に過半を超えています。次いで「施設利用者が地域住民に限定され全市的な利用ができていない」施設が26.1%、「類似公共体育施設が近隣にある」施設が25.5%などとなっています。

前項①と比較すると、「利用者が少ない」(61.1%→57.8%：－3.3ポイント)で他の項目よりも割合が若干大きく減少しましたが、その他の選択肢でも±1ポイント台程度しか差がないため、傾向の大きな差はありません。

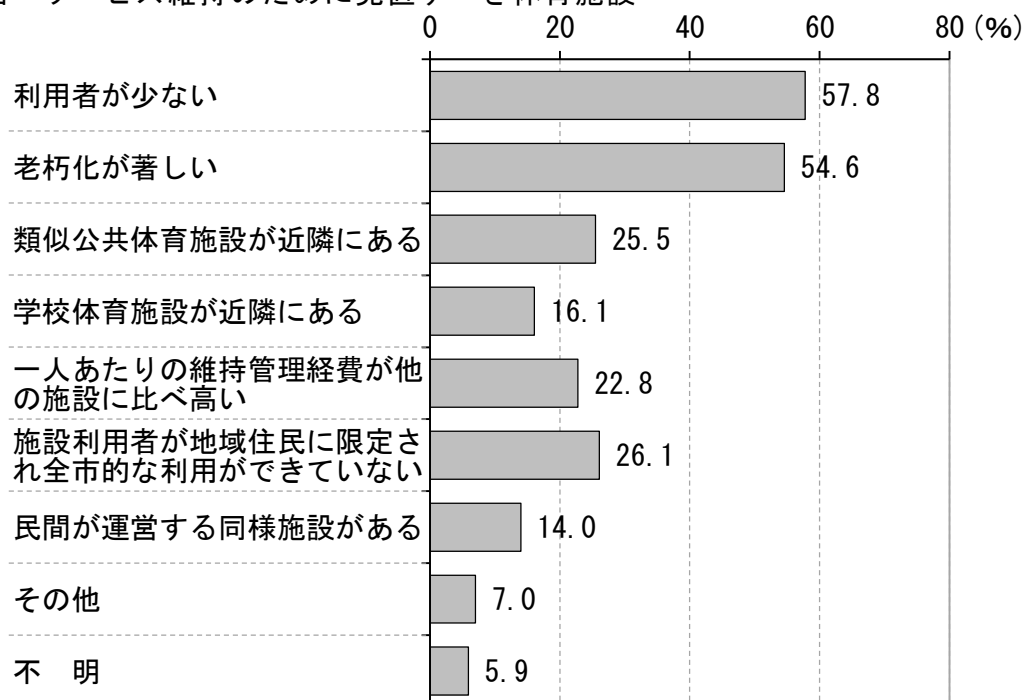
その他は、次頁にその要約を掲載しています。回答の多くは、施設が存続するために必要な視点や見直すべき施設の視点的な回答が多く、特に「施設・設備」(4人)や「運用」(4人)などといった部分に意見があげられています。

表 サービス維持のために見直すべき体育施設

	回答者 数(人)	構成比 (%)	構成比 (%)
1 利用者が少ない	215	57.8	61.1
2 老朽化が著しい	203	54.6	54.0
3 類似公共体育施設が近隣にある	95	25.5	26.0
4 学校体育施設が近隣にある	60	16.1	17.3
5 一人あたりの維持管理経費が他の施設に比べ高い	85	22.8	23.3
6 施設利用者が地域住民に限定され全市的な利用ができていない	97	26.1	26.0
7 民間が運営する同様施設がある	52	14.0	13.4
8 その他	26	7.0	5.6
不 明	22	5.9	7.0
合 計	372	100.0	100.0

※①再掲

図 サービス維持のために見直すべき体育施設



【その他】

視 点	見直しの視点の概要
施設・設備 (4人)	けがの起きにくい設備。
	高齢者対応施設より、ジュニア育成のための施設に力を入れる。
	年齢層に応じた整備。施設の定期的な改善。
	バリアフリー化。
運 用(4人)	イベントが少ない。アピールの不足。
	競技の種類や目的にもよるが、どこでもできる創意工夫。
	施設の集約。
	体育施設を使ったイベントが少ない。
維持管理費 (3人)	維持管理費の見直し。施設の多さ。
	市施設の民間外部委託化。
	利用者の少なさ、維持管理費の高さ、利用者が地域限定状況であることを問題から排除。
人件費(2人)	市職員の給与の高さ。
	施設管理人数の削減による経費削減。利用者の偏りの改善。
立 地(2人)	便利な場所に設立地（公共交通の）。
	便利な場所に立地。
情 報(2人)	施設活用のために情報発信が重要。
	利用者への情報共有化が不十分。
利用料(2人)	使用料の値上げ。
	利用の少ない施設の使用料の値上げ。

(4) 問15 体育施設の適正配置で重視すべき視点（3つまで）

問15 体育施設の適正配置を検討する場合に重視すべき視点はこういったところだと思いますか。3つ選んでください。

① 問6の選択肢「4 ほとんどしない」と「不明」の回答者を含めた集計

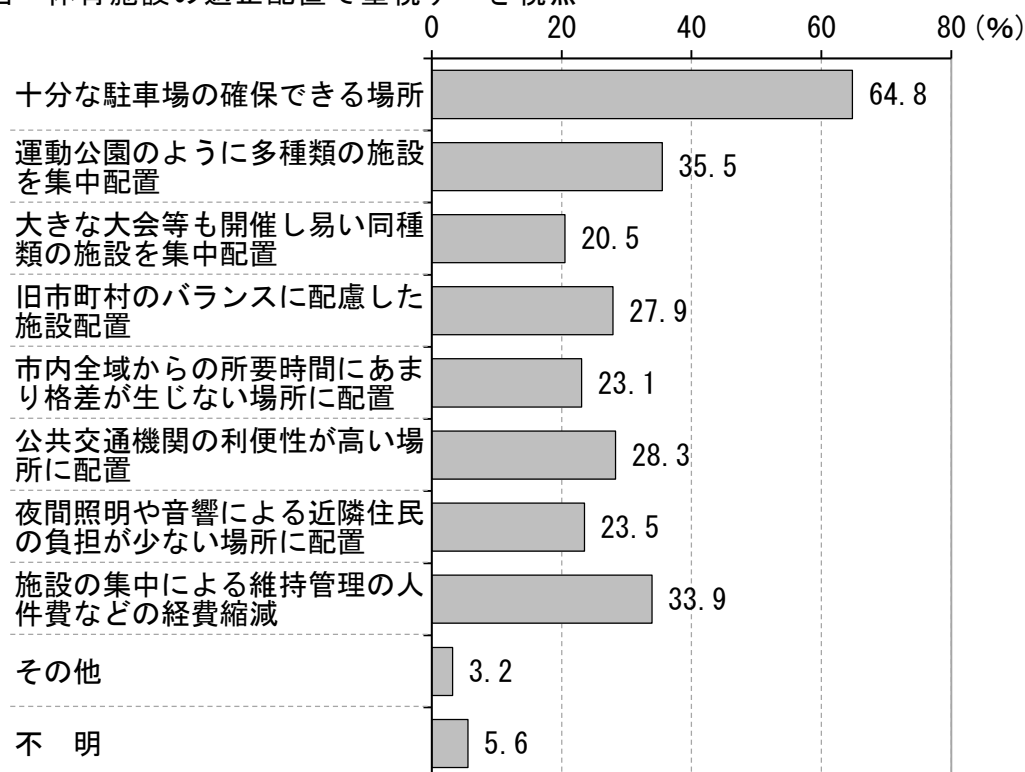
体育施設の適正配置で重視すべき視点は、「十分な駐車場が確保できる場所であること」が64.8%と割合が最も高くなっています。次いで「運動公園のように多種種類の施設を集中して配置すること」の35.5%、「施設の集中によって、施設の維持管理にかかる人件費などの経費削減を図ること」の33.9%などとなっています。

その他は、次頁にその要約を掲載しています。施設の「配置」（7人）や「機能」（6人）などに対する意見が多くあげられています。

表 体育施設の適正配置で重視すべき視点

	回答者 数(人)	構成比 (%)
1 十分な駐車場が確保できる場所であること	507	64.8
2 運動公園のように多種種類の施設を集中して配置すること	278	35.5
3 大きな大会等も開催し易くするため同種類の施設を集中して配置すること	160	20.5
4 旧市町村のバランスに配慮して、施設を配置すること	218	27.9
5 市内全域からの所要時間にあまり格差が生じない場所に配置すること	181	23.1
6 公共交通機関の利便性が高い場所に配置すること	221	28.3
7 夜間照明や音響によって近隣住民に負担をかけることが少ない場所に配置すること	184	23.5
8 施設の集中によって、施設の維持管理にかかる人件費などの経費削減を図ること	265	33.9
9 その他	25	3.2
不 明	44	5.6
合 計	782	100.0

図 体育施設の適正配置で重視すべき視点



【その他】

対 象	対象の内訳	重視すべき視点(要約)
配 置 (7 人)	施設の集約(3 人)	大型施設への集中。
		小規模施設廃止と大型施設への集約。
		体育施設以外の施設設置と巨大施設の建設。
	配置のバランス	旧市町村のバランスにこだわらない。
	地域や地区単位による運用	大型施設より、地域地区ごとに施設運用。
	徒歩等利用の考慮	車の無い人も行きやすい場所の施設維持・確保。
機 能 (6 人)	利用者数の多い施設優先	利用人数の多い施設の優先的存続。
	活用による利用価値の向上	イベント等も考慮した施設運用による利用価値向上。
	高齢者対応	年配者への利用の考慮。
	耐震性の確保	耐震性の確保。
	維持管理	既存施設の維持管理と活用。
	避難所兼用施設重視	災害時の避難場所となる施設を重視。
市 政 (2 人)	その他	ウォーキングロードの完備。
	市財政への配慮	赤字財政の中での見直しが必要か。
	市施策との整合	市施策との整合。
情 報	利用促進のための情報共有	利用種目・基準等の住民への周知と利用促進。
その他		利用状況の詳細な調査。

② 参考：問6の選択肢「4 ほとんどしない」と「不明」の回答者を除いた集計

体育施設の適正配置で重視すべき視点は、「十分な駐車場が確保できる場所であること」が61.3%と割合が最も高くなっています。次いで「運動公園のように多種類の施設を集中して配置すること」の37.4%、「施設の集中によって、施設の維持管理にかかる人件費などの経費削減を図ること」の33.9%などとなっています。

前項①と比較すると、「十分な駐車場が確保できる場所であること」（64.8%→61.3%：－3.5ポイント）と「旧市町村のバランスに配慮して、施設を配置すること」（27.9%→24.7%：－3.2ポイント）で他の項目よりも割合やや大きく減少しましたが、その他の選択肢でも最大で±2ポイント台の差と、傾向の大きな差はありません。

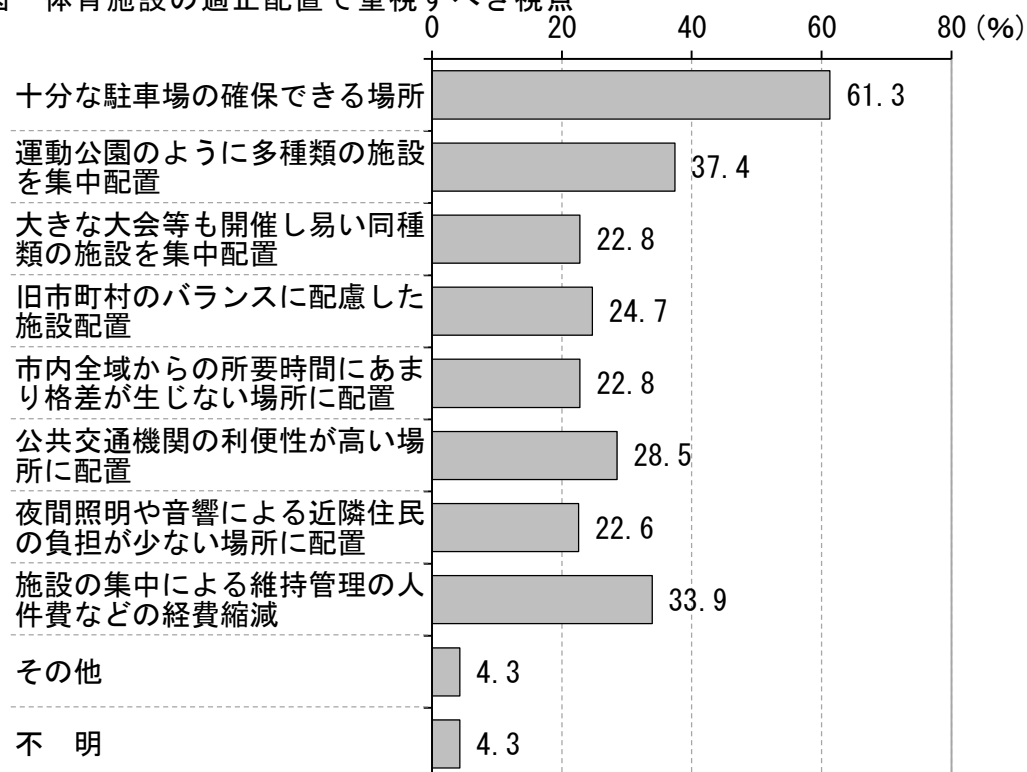
その他は、次頁にその要約を掲載しています。施設の「機能」（4人）や「配置」（3人）などに対する意見が多くあげられています。

表 体育施設の適正配置で重視すべき視点

	回答者 数(人)	構成比 (%)	構成比 (%)
1 十分な駐車場が確保できる場所であること	228	61.3	64.8
2 運動公園のように多種類の施設を集中して配置すること	139	37.4	35.5
3 大きな大会等も開催し易くするため同種類の施設を集中して配置すること	85	22.8	20.5
4 旧市町村のバランスに配慮して、施設を配置すること	92	24.7	27.9
5 市内全域からの所要時間にあまり格差が生じない場所に配置すること	85	22.8	23.1
6 公共交通機関の利便性が高い場所に配置すること	106	28.5	28.3
7 夜間照明や音響によって近隣住民に負担をかけることが少ない場所に配置すること	84	22.6	23.5
8 施設の集中によって、施設の維持管理にかかる人件費などの経費削減を図ること	126	33.9	33.9
9 その他	16	4.3	3.2
不 明	16	4.3	5.6
合 計	372	100.0	100.0

※①再掲

図 体育施設の適正配置で重視すべき視点



【その他】

視 点	重視すべき点概要	重視すべき視点の要約
機 能 (4 人)	高齢者対応	年配者への利用の考慮。
	その他	ウォーキングロードの完備。
	維持管理	既存施設の維持管理と活用。
	避難所兼用の施設	災害時の避難場所となる施設を重視。
配 置 (3 人)	施設の集約	小規模施設廃止と大型施設への集約。
	配置のバランス	旧市町村のバランスにこだわらない。
	利用者数の多い施設優先	利用人数の多い施設の優先的存続。
市 政 (2 人)	市財政への配慮	赤字財政の中での見直しが必要か。
	市施策との整合	市施策との整合。
情 報	利用促進のための情報共有	利用種目・基準等の住民への周知と利用促進。
その他	—	利用状況の詳細な調査。

(5) 問16 本市の将来のために充実させるべき体育施設（3つまで）

問16 伊賀市の将来のために充実させるべき体育施設は何であると思われますか。
3つ以内で選んでください。

① 問6の選択肢「4 ほとんどしない」と「不明」の回答者を含めた集計

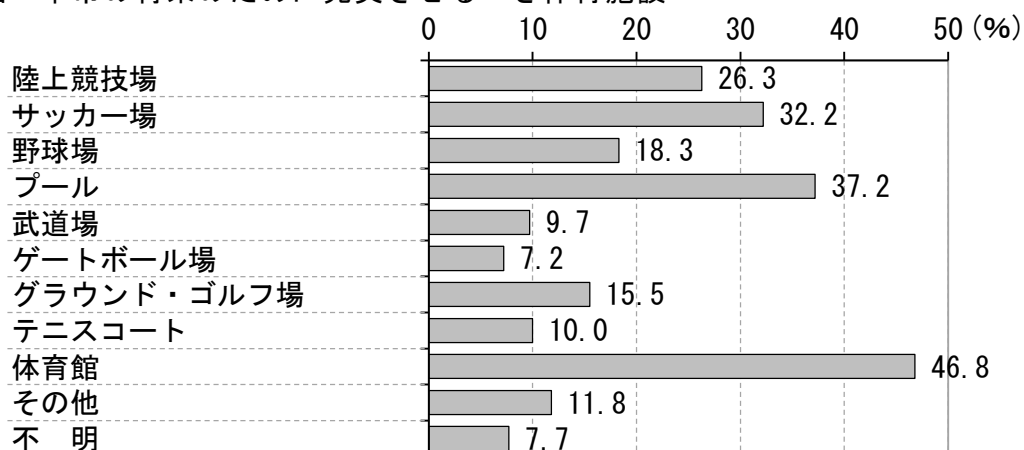
本市の将来のために充実させるべき体育施設は、「体育館」が46.8%と割合が最も高く、過半近くを占めています。次いで「プール」の37.2%、「サッカー場」の32.2%などとなっています。

その他は、次頁にその要約を掲載しています。主に、「トレーニング場」(22人)で「ジム・トレーニング室」(18人)に対して最も多くの意見があげられています。そのほか、「ウォーキング・ランニングコース」や「多目的広場」(共に7人)や、「フィットネス系施設」(6人)といったことができる施設を充実させるべきという意見があげられています。

表 本市の将来のために充実させるべき体育施設

	回答者 数(人)	構成比 (%)
1 陸上競技場	206	26.3
2 サッカー場	252	32.2
3 野球場	143	18.3
4 プール	291	37.2
5 武道場	76	9.7
6 ゲートボール場	56	7.2
7 グラウンド・ゴルフ場	121	15.5
8 テニスコート	78	10.0
9 体育館	366	46.8
10 その他	92	11.8
不 明	60	7.7
合 計	782	100.0

図 本市の将来のために充実させるべき体育施設



【その他】

充実させるべき体育施設	具体的な体育施設の内容(要約)
トレーニング場(22人)	ジム・トレーニング室(18人)／少人数利用できる運動室／高齢者対応／伊賀忍者／アスレチック施設 など
ウォーキング・ランニングコース(7人)	ウォーキングコース(4人)／ランニングコース／サイクリングコース併設／公園や河川敷の遊歩道 など
多目的運動場(7人)	陸上競技・サッカー兼用／自治協地区単位のグラウンドなど
フィットネス系施設(6人)	ヨガ教室(3人)／フィットネス(2人)／健康維持、体力増強。多様な年齢層の利用可能。 など
その他の施設(5人)	高齢者向け施設(2人)／ユーティリティ／バドミントン、卓球／アイススケート場、トランポリン施設、大型アスレチック遊具や大人が楽しめるフィットネス遊具など
球技場(4人)	フットサルコート(4人)／デフフットサル、卓球、バドミントン対応 など
複合施設(3人)	クライミング等のコアな競技の施設 など
総合スポーツ施設(3人)	屋根開閉式 など
屋内運動施設(2人)	未就学児対応／ドーム式 など
冒険遊具コース(2人)	子どもが楽しめる公園 など
ソフトボール場	硬式用
体育館	エアコン付き
庭球場	屋内
運動公園／弓道場／サイクリングコース／乗馬／水泳プール／専用施設／卓球場／ボウリング場	—
その他(9人)	これ以上不要(3人)／現存施設の利用価値の向上／新種目スポーツへの対応／充実している／市推奨のスポーツ施設／競技人口に応じた施設／旧市町村単位にこだわらない施設

② 参考：問6の選択肢「4 ほとんどしない」と「不明」の回答者を除いた集計

本市の将来のために充実させるべき体育施設は、「体育館」が44.9%と割合が最も高く、過半近くを占めています。次いで「プール」の34.9%、「サッカー場」の33.3%などとなっています。

前項①と比較すると、「プール」(37.2%→34.9%：－2.3ポイント)と「体育館」(46.8%→44.9%：－1.9ポイント)、「グラウンド・ゴルフ場」(15.5%→18.0%：＋2.5ポイント)で他の項目よりも割合やや変化しましたが、その他の選択肢でも最大で±1ポイント台の差と、傾向の大きな差はありません。

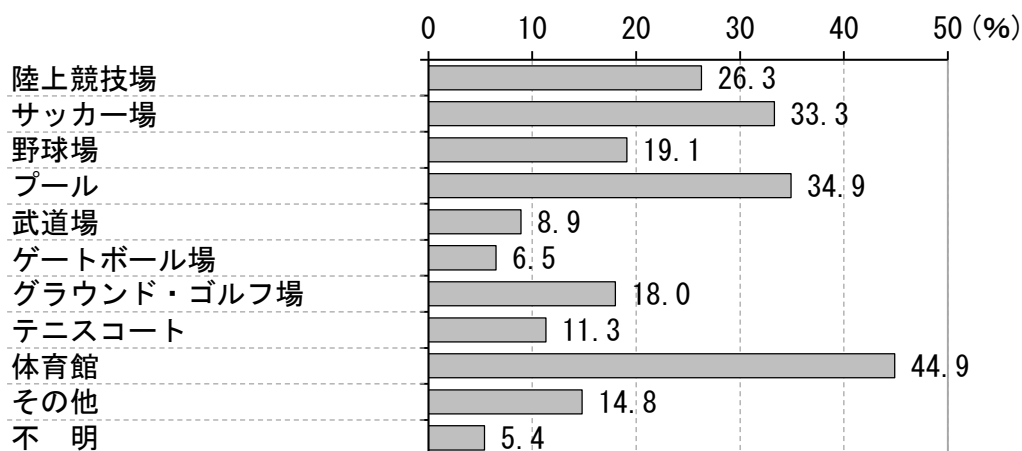
その他は、次頁にその要約を掲載しています。主に、「トレーニング場」(15人)で「ジム・トレーニング室」(12人)に対して最も多くの意見があげられています。そのほか、「多目的広場」(6人)や「フィットネス系施設」(5人)、「ウォーキング・ランニングコース」「球技場」(共に3人)といったことができる施設を充実させるべきという意見があげられています。

表 本市の将来のために充実させるべき体育施設

	回答者 数(人)	構成比 (%)	構成比 (%)
1 陸上競技場	98	26.3	26.3
2 サッカー場	124	33.3	32.2
3 野球場	71	19.1	18.3
4 プール	130	34.9	37.2
5 武道場	33	8.9	9.7
6 ゲートボール場	24	6.5	7.2
7 グラウンド・ゴルフ場	67	18.0	15.5
8 テニスコート	42	11.3	10.0
9 体育館	167	44.9	46.8
10 その他	55	14.8	11.8
不 明	20	5.4	7.7
合 計	372	100.0	100.0

※①再掲

図 本市の将来のために充実させるべき体育施設



【その他】

充実させるべき体育施設	その他
トレーニング場(15人)	ジム・トレーニング室(12人)／高齢者対応(2人)／伊賀忍者／少人数利用できる運動室
多目的運動場(6人)	自治協地区単位のグラウンド／陸上競技・サッカー兼用
フィットネス系施設 (5人)	フィットネス(2人)／健康維持、体力増強。多様な年齢層の利用可能。
ウォーキング・ランニングコース(3人)	ウォーキングコース(2人)／公園や河川敷の遊歩道
球技場(3人)	フットサルコート(3人)
屋内運動施設(2人)	ドーム式／未就学児対応
その他(2人)	旧市町村単位にこだわらない施設／これ以上不要
冒険遊具コース(2人)	子どもが楽しめる公園
ソフトボール場	硬式用
体育館	エアコン付き
その他の施設(3人)	高齢者対応(2人)／バドミントン、卓球／ユーティリティ
運動公園／サイクリングコース／水泳プール／専用施設／複合施設／ボウリング場／総合スポーツ施設	—

4. 伊賀市における公共体育施設（学校体育施設を除く）のより望ましい施設利用についてお尋ねします。

(1) 問17 体育施設面以外で市民に使い易くするためのサービス

問17 体育施設面以外で、より市民の皆様を使い易くするサービスについてお尋ねします。はい、いいえでお答えください。

① 現在1時間単位となっている使用時間を30分単位とした方が良い

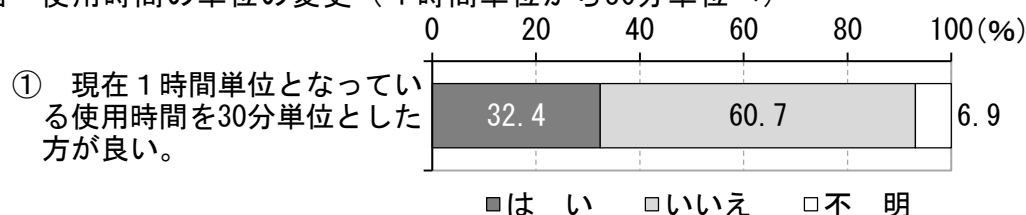
ア. 問6の選択肢「4 ほとんどしない」と「不明」の回答者を含めた集計

「現在1時間単位となっている使用時間を30分単位とした方が良い」は、「いいえ」の割合が60.7%と最も高くなっています。

表 使用時間の単位の変更（1時間単位から30分単位へ）

	回答者 数(人)	構成比 (%)
1 はい	253	32.4
2 いいえ	475	60.7
不 明	54	6.9
合 計	782	100.0

図 使用時間の単位の変更（1時間単位から30分単位へ）



イ. 参考：問6の選択肢「4 ほとんどしない」と「不明」の回答者を除いた集計

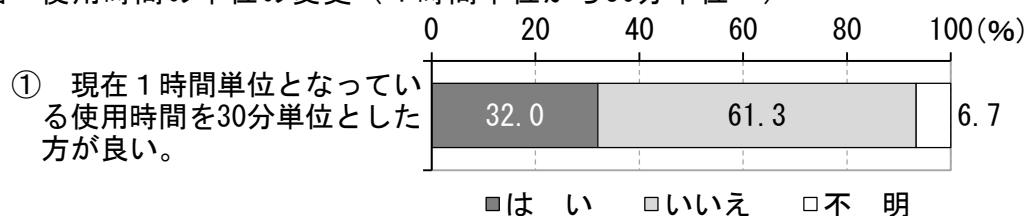
「現在1時間単位となっている使用時間を30分単位とした方が良い」は、「いいえ」の割合が61.3%と最も高くなっています。

ア. と比較すると、「はい」が32.4%から32.0%（-0.4ポイント）、「いいえ」が60.7%から61.3%（+0.6ポイント）と、傾向に大きな差はありません。

表 使用時間の単位の変更（1時間単位から30分単位へ）

	回答者 数(人)	構成比 (%)
1 はい	119	32.0
2 いいえ	228	61.3
不 明	25	6.7
合 計	372	100.0

図 使用時間の単位の変更（1時間単位から30分単位へ）



② 施設が使用できる時間を長くした方が良い

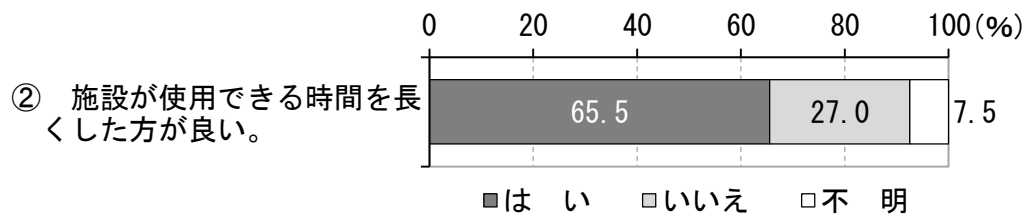
7. 問6の選択肢「4 ほとんどしない」と「不明」の回答者を含めた集計

「施設が使用できる時間を長くした方が良い」は、「はい」の割合が65.5%と最も高くなっています。

表 施設が使用できる時間の延長

	回答者 数(人)	構成比 (%)
1 はい	512	65.5
2 いいえ	211	27.0
不 明	59	7.5
合 計	782	100.0

図 施設が使用できる時間の延長



1. 参考：問6の選択肢「4 ほとんどしない」と「不明」の回答者を除いた集計

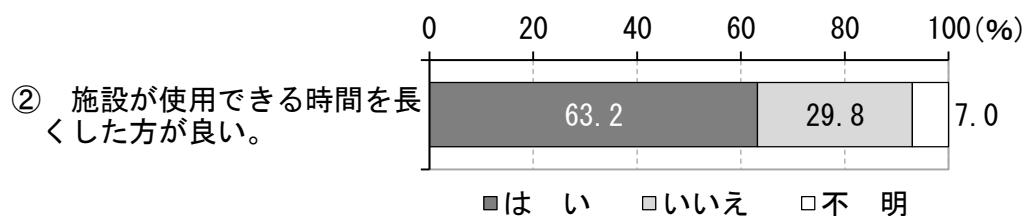
「施設が使用できる時間を長くした方が良い」は、「はい」の割合が63.2%と最も高くなっています。

7. と比較すると、「はい」が65.5%から63.2%（-2.3ポイント）、「いいえ」が27.0%から29.8%（+2.8ポイント）と、傾向に大きな差はありません。

表 施設が使用できる時間の延長

	回答者 数(人)	構成比 (%)
1 はい	235	63.2
2 いいえ	111	29.8
不 明	26	7.0
合 計	372	100.0

図 施設が使用できる時間の延長



③ 施設の予約をするには、SNSなどのインターネットを利用できるようにする

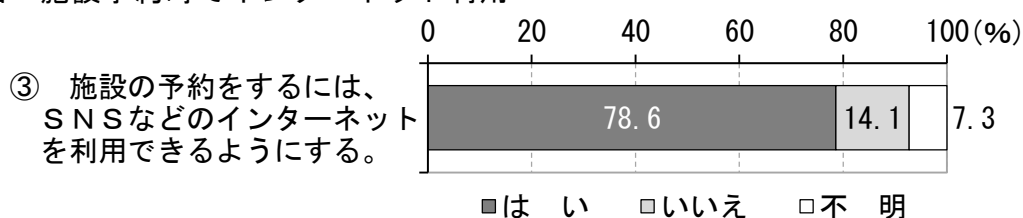
7. 問6の選択肢「4 ほとんどしない」と「不明」の回答者を含めた集計

「施設の予約をするには、SNSなどのインターネットを利用できるようにする」は、「はい」の割合が78.6%と最も高くなっています。

表 施設予約時のインターネット利用

	回答者 数(人)	構成比 (%)
1 はい	615	78.6
2 いいえ	110	14.1
不 明	57	7.3
合 計	782	100.0

図 施設予約時にインターネット利用



1. 参考：問6の選択肢「4 ほとんどしない」と「不明」の回答者を除いた集計

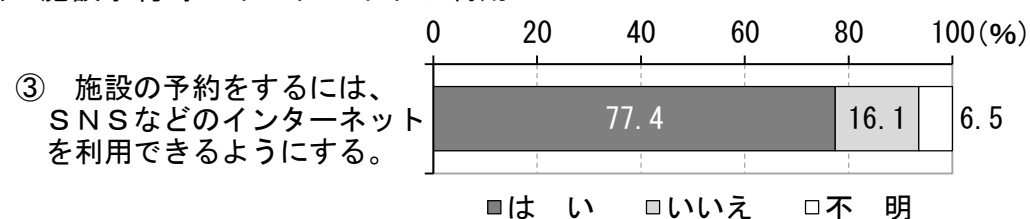
「施設の予約をするには、SNSなどのインターネットを利用できるようにする」は、「はい」の割合が77.4%と最も高くなっています。

7. と比較すると、「はい」が78.6%から77.4%（-1.2ポイント）、「いいえ」が14.1%から16.1%（+2.0ポイント）と、傾向に大きな差はありません。

表 施設予約時のインターネット利用

	回答者 数(人)	構成比 (%)
1 はい	288	77.4
2 いいえ	60	16.1
不 明	24	6.5
合 計	372	100.0

図 施設予約時にインターネット利用



④ 施設の情報提供（情報発信）をもっと増やした方が良い

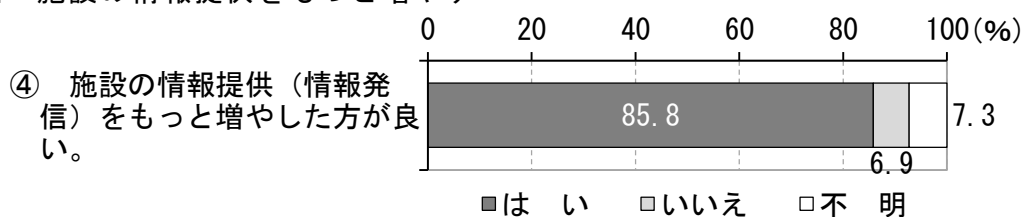
7. 問6の選択肢「4 ほとんどしない」と「不明」の回答者を含めた集計

「施設の情報提供（情報発信）をもっと増やした方が良い」は、「はい」の割合が85.8%と最も高くなっています。

表 施設の情報提供をもっと増やす

	回答者 数(人)	構成比 (%)
1 はい	671	85.8
2 いいえ	54	6.9
不 明	57	7.3
合 計	782	100.0

図 施設の情報提供をもっと増やす



1. 参考：問6の選択肢「4 ほとんどしない」と「不明」の回答者を除いた集計

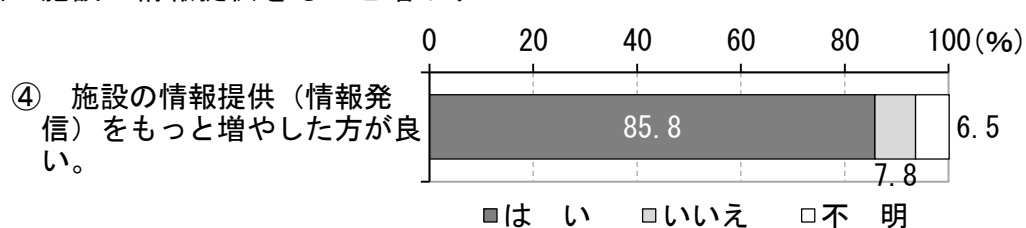
「施設の情報提供（情報発信）をもっと増やした方が良い」は、「はい」の割合が85.8%と最も高くなっています。

7.と比較すると、「はい」がどちらも85.8%と同率で、「いいえ」が6.9%から7.8%(+0.9ポイント)と、傾向に大きな差はありません。

表 施設の情報提供をもっと増やす

	回答者 数(人)	構成比 (%)
1 はい	319	85.8
2 いいえ	29	7.8
不 明	24	6.5
合 計	372	100.0

図 施設の情報提供をもっと増やす



⑤ その他

7. 問6の選択肢「4 ほとんどしない」と「不明」の回答者を含めた集計

その他は、以下にその要約を掲載しています。多かった意見としては「運営」（9人）に対する他施設との「連携」（3人）に関連するもの、「情報」（9人）に対する「活動情報」や「利用情報」（共に3人）に関連するもの、「施設」（7人）に対する「活用」（3人）に関連するもの、「利用・予約」（5人）に対する「予約」（4人）に関連するもの、などがあげられています。

【その他】

対 象	サービス の内容	市民が使いやすくするサービス(要約)
運 営 (9人)	連 携 (3人)	学校教育との連携
		学校体育館の活用の推進
		施設の他市との共有も含めた広域連携
	イベント (2人)	市民参加のスポーツイベントを増やす
		スポーツイベントの充実
	施設運用 (2人)	施設管理者の適正な対応と人員配置
		子どもが利活用できる場の確保
活用	体育利用以外の利用（音楽、公園、芸術等イベント）の運営検討	
料金	安い料金であること	
情 報 (9人)	活動情報 (3人)	広報へゆめドームの教室案内の情報掲示
		スポーツをしている風景等をHP上に上げてPR
		活動サークルの情報提供
	利用情報 (3人)	利用初心者へのわかりやすい説明
		利用状況の情報のオープン化
		利用状況の情報のオープン化
	施設情報 (2人)	市内の施設のリストの提供
体育施設の認知度の向上		
施設案内	施設への案内表示の不足	
施 設 (7人)	活 用 (3人)	避難所の機能としても必要
		高齢者のスポーツの取り組みへの支援
		スポーツイベント等の実施
	改 善 (2人)	既存施設のメンテナンス
		陸上タータントラックの整備（ないため子供が他市で練習）
整備	市民ためのスポーツ施設の重要性	
立地	徒歩利用者にも配慮した駅から徒歩圏への配置	
利 用 ・ 予 約 (5人)	予 約 (4人)	ネット予約は前払いでないと、とりあえず予約が増え、使えなくなる
		ネットによる予約システム
		予約手続きの簡素化
		常連者のまとまった予約により他利用者の利用が出来ない事への対応
	利 用	市民が優先利用できる仕組み
その他 (6人)	—	水泳プールの整備
		利用者属性やスポーツ内容に合致する施設の整備
		支所単位の整備（ランニングコース、サイクリングコース）
		スポーツ振興に対する市の方針を明確にする
		市民利用を増やすようお願いする
		プロスポーツ誘致

1. 参考：問6の選択肢「4 ほとんどしない」と「不明」の回答者を除いた集計

その他は、以下にその要約を掲載しています。多かった意見としては「情報」（7人）に対する「活動情報」（3人）や「利用情報」（2人）に関連するもの、「運営」（5人）に対する他施設との「イベント」「連携」（共に2人）に関連するもの、「利用・予約」（5人）に対する「予約」（4人）に関連するものなどがあげられています。

【その他】

対 象	内 容	市民が使いやすくするサービスの概要
情 報 (7人)	活動情報 (3人)	広報へゆめドームの教室案内の情報掲示
		スポーツをしている風景等をHP上に上げてPR
	利用情報 (2人)	活動サークルの情報提供
		利用初心者へのわかりやすい説明
運 営 (5人)	施設案内	利用状況の情報のオープン化
		施設への案内表示の不足
	施設情報	体育施設の認知度の向上
		イベント
利 用 ・ 予 約 (5人)	イベント (2人)	市民参加のスポーツイベントを増やす
		スポーツイベントの充実
	連 携 (2人)	学校教育との連携
		学校体育館の活用 of 推進
施 設 (2人)	施設運用	施設管理者の適正な対応と人員配置
		予約
	予 約 (4人)	ネット予約は前払いでないと、とりあえず予約が増え、使えなくなる
		ネットによる予約システム
そ の 他 (6人)	利用	予約手続きの簡素化
		常連者のまとまった予約により他利用者の利用が出来ない事への対応
	改 善 (2人)	市民が優先利用できる仕組み
		既存施設のメンテナンス
—	—	陸上タータントラックの整備（ないため子供が他市で練習）
		水泳プールの整備
	—	利用者属性やスポーツ内容に合致する施設の整備
		支所単位の整備（ランニングコース、サイクリングコース）
—	—	スポーツ振興に対する市の方針を明確にする
		市民利用を増やすようお願いする
—	—	プロスポーツ誘致

Ⅳ. 集計結果(クロス集計)

1. 問5 お住まいの地域 × 問9 利用頻度の高い公共・学校体育施設

注1：問5は全員、問9は問8-1を回答した人のみを対象とした設問となります。

注2：問5・問9共に回答した人のみで集計しているため、問5・問9各単独の設問時の合計とは数値が異なります。

注3：体育施設が立地する地域の場所について、便宜的に表上にで表しています。

① 競技場及びグラウンド

ア. 上野地域

主に上野地域内の施設を中心に利用し、「学校体育施設グラウンド」の利用が34.9%と割合が最も高く、次いで「しらさぎ運動公園多目的グラウンド」の30.2%、「上野運動公園競技場」の28.6%などとなっています。

イ. 島ヶ原地域

該当する回答者数が3人と少ないため参考となりますが、3人中2人が「学校体育施設グラウンド」を利用しています。

ウ. 大山田地域

該当する回答者数が7人と少ないため参考となりますが、7人中3人が大山田地域内の「大山田東グラウンド」と「学校体育施設グラウンド」を利用しています。
また、上野地域に立地する公共体育施設を利用する人も3人となっています。

エ. いがまち地域

いがまち地域内の「いがまちスポーツセンターグラウンド」の利用が78.6%と割合が最も高くなっています。また、上野地域内の「上野運動公園野球場・競技場」と「ゆめが丘多目的広場」の利用も多くなっています。

オ. 阿山地域

阿山地域内の「阿山第1運動公園グラウンド」の利用が81.8%と割合が最も高くなっています。また、上野地域内の「上野運動公園野球場・競技場」の利用も2名ほどあります。

カ. 青山地域

該当する回答者数が5人と少ないため参考となりますが、5人中3人が青山地域内の「青山グラウンド」を利用しています。上野地域内の「上野運動公園競技場」と「ゆめが丘多目的広場」の利用も3名ほどあります。

表 お住まいの地域×利用頻度の高い体育施設：競技場及びグラウンド

		問 5													
		合 計		上野地域		島ヶ原地域		大山田地域		いがまち地域		阿山地域		青山地域	
		(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)
問 9	1 上野運動公園野球場	17	16.5	12	19.0	0	0.0	2	28.6	2	14.3	1	9.1	0	0.0
	2 上野運動公園競技場	25	24.3	18	28.6	0	0.0	1	14.3	3	21.4	1	9.1	2	40.0
	3 ゆめが丘多目的広場	17	16.5	11	17.5	1	33.3	0	0.0	4	28.6	0	0.0	1	20.0
	4 しらさぎ運動公園多目的グラウンド	20	19.4	19	30.2	0	0.0	1	14.3	0	0.0	0	0.0	0	0.0
	5 伊賀市民多目的広場	1	1.0	1	1.6	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
	6 いがまちスポーツセンターグラウンド	19	18.4	6	9.5	0	0.0	1	14.3	11	78.6	0	0.0	1	20.0
	7 島ヶ原運動広場	3	2.9	2	3.2	1	33.3	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
	8 阿山第1運動公園グラウンド	15	14.6	3	4.8	0	0.0	1	14.3	1	7.1	9	81.8	1	20.0
	9 阿山第2運動公園サッカー場	7	6.8	2	3.2	0	0.0	0	0.0	2	14.3	2	18.2	1	20.0
	10 青山グラウンド	8	7.8	3	4.8	0	0.0	0	0.0	2	14.3	0	0.0	3	60.0
	11 青山高尾グラウンド	2	1.9	1	1.6	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	20.0
	12 青山矢持グラウンド	1	1.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	20.0
	13 大山田東グラウンド	3	2.9	0	0.0	0	0.0	3	42.9	0	0.0	0	0.0	0	0.0
	14 学校体育施設グラウンド	33	32.0	22	34.9	2	66.7	3	42.9	3	21.4	3	27.3	0	0.0
利用(回答)者数		103	100.0	63	100.0	3	100.0	7	100.0	14	100.0	11	100.0	5	100.0

② プール

ア. 上野地域

利用頻度の高いプールは、上野地域内に限らず利用者が3か所に分散しています。大山田地域内の「大山田B & Gプール」が52.9%と割合が最も高く、次いで上野地域内の「上野運動公園プール」が47.1%、阿山地域内の「阿山B & Gプール」が29.4%となっています。

イ. 島ヶ原地域

該当する回答者が1名と少ないため参考となりますが、阿山地域内の「阿山B & Gプール」を利用しています。

ウ. 大山田地域

該当する回答者が6人と少ないため参考となりますが、6人中5人が大山田地域の「大山田B & Gプール」を利用し、そのほか阿山地域内の「阿山B & Gプール」を1人が利用しています。

エ. いがまち地域

該当する回答者が5人と少ないため参考となりますが、5人中4人が阿山地域の「阿山B & Gプール」を利用し、そのほか大山田地域の「大山田B & Gプール」を3人、上野地域内の「上野運動公園プール」を1人が利用しています。

オ. 阿山地域

該当する回答者が7人と少ないため参考となりますが、7人中7人が阿山地域の「阿山B & Gプール」を利用しています。

カ. 青山地域

該当する回答者が1人と少ないため参考となりますが、1人が阿山地域内の「阿山B & Gプール」と大山田地域内の「大山田B & Gプール」を利用しています。

表 お住まいの地域×利用頻度の高い体育施設：プール

		合 計		問 5											
				上野地域		島ヶ原 地 域		大山田 地 域		いがまち 地 域		阿山地域		青山地域	
				(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)
問 9	15 上野運動公園プール	9	24.3	8	47.1	0	0.0	0	0.0	1	20.0	0	0.0	0	0.0
	16 阿山B & G プール	19	51.4	5	29.4	1	100.0	1	16.7	4	80.0	7	100.0	1	100.0
	17 大山田B & G プール	18	48.6	9	52.9	0	0.0	5	83.3	3	60.0	0	0.0	1	100.0
利用(回答)者数		37	100.0	17	100.0	1	100.0	6	100.0	5	100.0	7	100.0	1	100.0

③ テニスコート

ア. 上野地域

主に上野地域内の公共体育施設を利用しています。「上野運動公園テニスコート」が72.7%と割合が最も高く、次いで「ゆめが丘テニスコート」が61.1%などとなっています。

イ. 島ヶ原地域

該当する回答者数が1人と少ないため参考となりますが、上野地域内の「上野運動公園テニスコート」と「ゆめが丘テニスコート」を利用しています。

ウ. 大山田地域

該当する回答者がいませんでした。

エ. いがまち地域

該当する回答者数が5人と少ないため参考となりますが、5人中5人が同じいがまち地域内の「いがまちスポーツセンターテニスコート」を利用しています。

オ. 阿山地域

該当する回答者数が1人と少ないため参考となりますが、阿山地域内の「阿山第1運動公園テニスコート」を利用しています。

カ. 青山地域

該当する回答者数が4人と少ないため参考となりますが、4人中2人が青山地域内の「青山テニスコート」を利用しているほか、上野地域内の施設も2人利用しています。

表 お住まいの地域×利用頻度の高い体育施設：テニスコート

		合 計		問 5											
				上野地域		島ヶ原地域		大山田地域		いがまち地域		阿山地域		青山地域	
		(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)
問 9	18 上野運動公園テニスコート	15	51.7	13	72.2	1	100.0	0	—	1	20.0	0	0.0	0	0.0
	19 上野緑ヶ丘テニスコート	4	13.8	3	16.7	0	0.0	0	—	0	0.0	0	0.0	1	25.0
	20 ゆめが丘テニスコート	13	44.8	11	61.1	1	100.0	0	—	0	0.0	0	0.0	1	25.0
	21 いがまちスポーツセンターテニスコート	7	24.1	2	11.1	0	0.0	0	—	5	100.0	0	0.0	0	0.0
	22 阿山第1運動公園テニスコート	3	10.3	1	5.6	0	0.0	0	—	1	20.0	1	100.0	0	0.0
	23 青山テニスコート	2	6.9	0	0.0	0	0.0	0	—	0	0.0	0	0.0	2	50.0
利用(回答)者数		29	100.0	18	100.0	1	100.0	0	—	5	100.0	1	100.0	4	100.0

④ 体育館

ア. 上野地域

「学校体育施設体育館」が66.7%と割合が最も高く、次いで上野地域内の「伊賀市民体育館」が36.8%などとなっています。また、阿山地域内の「阿山B & G体育館」と大山田地域内の「大山田B & G体育館」も各8.8%が利用しています。

イ. 島ヶ原地域

該当する回答者数が1人と少ないため参考となりますが、「学校体育施設体育館」を利用しています。

ウ. 大山田地域

大山田地域内の施設利用を中心に、「大山田B & G体育館」が50.0%と割合が最も高く、そのほか「大山田東体育館」が21.4%などとなっています。また「学校体育施設体育館」が35.7%などとなっています。

エ. いがまち地域

該当する回答者数が9人と少ないため参考となりますが、9人中7人が「学校体育施設体育館」を利用しています。

オ. 阿山地域

該当する回答者数が6人と少ないため参考となりますが、6人中5人が阿山地域内の「阿山B & G体育館」、6人中3人が「学校体育施設体育館」を利用しています。

カ. 青山地域

該当する回答者数が6人と少ないため参考となりますが、6人中3人が「学校体育施設体育館」を利用しています。また青山地域内の施設も4人が利用しています。

表 お住まいの地域×利用頻度の高い体育施設：体育館

		合 計		問 5											
				上野地域		島ヶ原地域		大山田地域		いがまち地域		阿山地域		青山地域	
				(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)
問 9	24 伊賀市民体育館	22	23.7	21	36.8	0	0.0	1	7.1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
	25 青山北部公園運動施設	3	3.2	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	11.1	0	0.0	2	33.3
	26 青山児童屋内運動場	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
	27 青山高尾体育館	2	2.2	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	2	33.3
	28 大山田東体育館	3	3.2	0	0.0	0	0.0	3	21.4	0	0.0	0	0.0	0	0.0
	29 阿山B & G体育館	11	11.8	5	8.8	0	0.0	0	0.0	1	11.1	5	83.3	0	0.0
	30 大山田B & G体育館	15	16.1	5	8.8	0	0.0	7	50.0	2	22.2	1	16.7	0	0.0
	31 学校体育施設体育館	57	61.3	38	66.7	1	100.0	5	35.7	7	77.8	3	50.0	3	50.0
	利用(回答)者数	93	100.0	57	100.0	1	100.0	14	100.0	9	100.0	6	100.0	6	100.0

⑤ 武道館等

※武道館については、施設が全て上野地域に立地しているため、地域ごとの利用特性はありません。

7. 上野地域

上野地域内の「伊賀上野武道館」が66.7%と割合が最も高く、次いで「学校体育施設武道館」が33.3%などとなっています。

1. 島ヶ原地域

該当する回答者がいませんでした。

9. 大山田地域

該当する回答者がいませんでした。

1. いがまち地域

該当する回答者数が1人と少ないため参考となりますが、上野地域内の「伊賀上野武道館」を利用しています。

1. 阿山地域

該当する回答者がいませんでした。

1. 青山地域

該当する回答者がいませんでした。

表 お住まいの地域×利用頻度の高い体育施設：武道館等

		合 計		問 5											
				上野地域		島ヶ原 地 域		大山田 地 域		いがまち 地 域		阿山地域		青山地域	
		(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)
問 9	32 伊賀上野武道館	11	68.8	10	66.7	0	—	0	—	1	100.0	0	—	0	—
	33 伊賀市民弓道場	1	6.3	1	6.7	0	—	0	—	0	0.0	0	—	0	—
	34 学校体育施設武道館	5	31.3	5	33.3	0	—	0	—	0	0.0	0	—	0	—
利用(回答)者数		16	100.0	15	100.0	0	—	0	—	1	100.0	0	—	0	—

⑥ ゲートボール場

ア. 上野地域

該当する回答者数が5名と少ないため参考となりますが、5人中5人が上野地域内の「しらさぎ運動公園屋外ゲートボール場」を利用しています。

イ. 島ヶ原地域

該当する回答者がいませんでした。

ウ. 大山田地域

該当する回答者がいませんでした。

エ. いがまち地域

該当する回答者がいませんでした。

オ. 阿山地域

該当する回答者数が1人と少ないため参考となりますが、阿山地域内の「阿山第1運動公園屋内ゲートボール場」を利用しています。

カ. 青山地域

該当する回答者がいませんでした。

表 お住まいの地域×利用頻度の高い体育施設：ゲートボール場

		合 計		問 5													
				上野地域		島ヶ原 地 域		大山田 地 域		いがまち 地 域		阿山地域		青山地域			
		(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)		
問 9	35	しらさぎ運動公園屋外 ゲートボール場		5	83.3	5	100.0	0	－	0	－	0	－	0	0.0	0	－
	36	いがまちスポーツセン ターゲートボール場		2	33.3	2	40.0	0	－	0	－	0	－	0	0.0	0	－
	37	阿山第 1 運動公園屋内 ゲートボール場		2	33.3	1	20.0	0	－	0	－	0	－	1	100.0	0	－
利用(回答)者数		6	100.0	5	100.0	0	－	0	－	0	－	1	100.0	0	－		

⑦ その他施設

ア. 上野地域

上野地域内の「三重県立ゆめドームうえの」が80.0%と割合が最も高く、次いで「その他の施設」が17.8%などとなっています。

イ. 島ヶ原地域

該当する回答者がいませんでした。

ウ. 大山田地域

該当する回答者数が6人と少ないため参考となりますが、6人中3人が大山田地域内の「大山田B&Gトレーニングルーム」と「その他施設」を利用しています。

エ. いがまち地域

該当する回答者数が7人と少ないため参考となりますが、7人中4人が上野地域内の「三重県立ゆめドームうえの」を利用しているほか、いがまち地域内の「いがまちスポーツセンタートレーニング室」も2人が利用しています。

オ. 阿山地域

該当する回答者数が5人と少ないため参考となりますが、5人中4人が上野地域内の「三重県立ゆめドームうえの」を利用しているほか、阿山地域内の「阿山B&Gトレーニングルーム」も1人が利用しています。

カ. 青山地域

該当する回答者数が6人と少ないため参考となりますが、6人中5人が上野地域内の「三重県立ゆめドームうえの」を利用しています。

表 お住まいの地域×利用頻度の高い体育施設：その他施設

		合 計		問 5											
				上野地域		島ヶ原地域		大山田地域		いがまち地域		阿山地域		青山地域	
		(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)
問 9	38 いがまちスポーツセンタートレーニング室	2	2.9	0	0.0	0	—	0	0.0	2	28.6	0	0.0	0	0.0
	39 阿山B&Gトレーニングルーム	3	4.3	2	4.4	0	—	0	0.0	0	0.0	1	20.0	0	0.0
	40 大山田B&Gトレーニングルーム	3	4.3	0	0.0	0	—	3	50.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
	41 阿山B&G海洋センター艇庫	0	0.0	0	0.0	0	—	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
	42 大山田B&G海洋センター艇庫	0	0.0	0	0.0	0	—	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
	43 三重県立ゆめドームうえの	50	72.5	36	80.0	0	—	1	16.7	4	57.1	4	80.0	5	83.3
	44 三重県上野射撃場	1	1.4	1	2.2	0	—	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
	45 都市公園内施設（ターゲット・パードゴルフ）	0	0.0	0	0.0	0	—	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
	46 その他施設	16	23.2	8	17.8	0	—	3	50.0	2	28.6	0	0.0	3	50.0
利用(回答)者数		69	100.0	45	100.0	0	—	6	100.0	7	100.0	5	100.0	6	100.0

2. 問8 スポーツ・運動をする場合の場所 × 問16 本市の将来のために充実させるべき体育施設

注1：問8、問16は全員を対象とした設問となります。

注2：問8・問16共に回答した人のみで集計しているため、問8・問16各単独の設問時の合計とは数値が異なります。

① 問8 スポーツ・運動する場所ごとの集計（横集計）

どのスポーツ・運動する場所を選択した人も、将来のために充実させるべき体育施設として「体育館」が50%前後となっています。特に「公共体育施設」と「民間の体育施設」で運動する人では、「体育館」の割合が50%を超えています。

「民間の体育施設」「公園等」「自宅」「その他」で運動する人は、将来のために充実させるべき体育施設として「プール」を2番目にあげ、概ね40%以上となっています。

「公共体育施設」で運動する人は、将来のために充実させるべき体育施設として「サッカー場」を2番目にあげ、40%以上となっています。

なお、「サッカー場」と「プール」と「体育館」は問16の単独の設問の時でも回答者数の多い設問となっており、スポーツ・運動をする場所がどこであっても、誰もが将来のために充実させるべき施設としてあげています。

② 問16 将来のために充実させるべき体育施設ごとの集計（縦集計）

将来のために充実させるべき体育施設としてあげられている「テニスコート」を除く8施設で、「自宅」で運動をする人の回答が概ね40～50%台と最も高くなっています。「テニスコート」では、「公共体育施設」「民間の体育施設」が30%台と割合が高くなっています。

次いで「サッカー場」「野球場」「体育館」の4体育施設では、「公共体育施設」で運動する人、「陸上競技場」「プール」「ゲートボール場」「グラウンド・ゴルフ場」4施設では、「民間の体育施設」で運動する人、「テニスコート」では「自宅」で運動する人、「武道場」「グラウンド・ゴルフ場」では、「その他」で運動する人の割合が高くなっています。

2番目の傾向としては、運動をする場所に「公共体育施設」と「民間の体育施設」を1番目に上げている「テニスコート」も含めると、運動する場所の「公共体育施設」に充実させるべき体育施設が4施設、運動する場所の「民間の体育施設」に充実させるべき体育施設が5施設と、運動する場所の「民間の体育施設」の方が2番目等とする体育施設数がやや多くなっています。

表 スポーツ・運動をする場合の場所×本市の将来のために充実させるべき体育施設 (横集計)

		問16																				
		合 計		陸上競技場		サッカー場		野球場		プール		武道場		ゲートボール場		グラウンド・ゴルフ場		テニスコート		体育館		
				(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)
問 8	1	公共体育施設（学校を含む）	193	28.0	46	23.8	80	32.9	47	34.8	66	23.6	10	13.7	13	24.5	30	26.1	24	32.4	109	30.9
	2	民間の体育施設（ジム・プール・ゴルフ場等）	181	26.2	48	24.9	70	28.8	32	23.7	74	26.4	15	20.5	17	32.1	32	27.8	24	32.4	93	26.3
	3	公園等	120	17.4	38	19.7	40	16.5	22	16.3	52	18.6	13	17.8	5	9.4	19	16.5	20	27.0	58	16.4
	4	自宅	295	42.8	91	47.2	99	40.7	52	38.5	136	48.6	40	54.8	24	45.3	45	39.1	23	31.1	146	41.4
	5	その他	143	20.7	38	19.7	50	20.6	26	19.3	57	20.4	17	23.3	13	24.5	32	27.8	13	17.6	70	19.8
合 計		690	100.0	193	100.0	243	100.0	135	100.0	280	100.0	73	100.0	53	100.0	115	100.0	74	100.0	353	100.0	

表 スポーツ・運動をする場合の場所×本市の将来のために充実させるべき体育施設 (縦集計)

		問16																			
		合 計		陸上競技場		サッカー場		野球場		プール		武道場		ゲートボール場		グラウンド・ゴルフ場		テニスコート		体育館	
		(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)
問 8	1	公共体育施設（学校を含む）																			
	2	民間の体育施設（ジム・プール・ゴルフ場等）																			
	3	公園等																			
	4	自宅																			
	5	その他																			
合 計		690	100.0	193	28.0	243	35.2	135	19.6	280	40.6	73	10.6	53	7.7	115	16.7	74	10.7	353	51.2

3. 問10 公共・学校の体育施設での運動・スポーツ種目 × 問16 本市の将来のために充実させるべき体育施設

注1：問16は全員、問10は問8-1を回答した人のみを対象とした設問となります。

注2：問10・問16共に回答した人のみで集計しているため、問10・問16各単独の設問時の合計とは数値が異なります。

注3：当該クロス集計を実施する際に、問10の選択肢数が多く、クロスの結果の各数値が非常に小さくなるため、問10の運動・スポーツ種目の分類を問16の体育施設の分類に合わせてまとめて集計しています。

① 問10 公共・学校の体育施設での運動・スポーツごとの集計（横集計）

どの運動・スポーツ種目も、概ね“そのスポーツに関わる体育施設”の充実を望む傾向にあります（ただし「武道」では「プール」の割合が高くなっていますが、回答者が少ないため誤差の範囲と見られます）。

内訳をみると、どの運動・スポーツも概ね共通してその次に「体育館」の割合が高くなっているほか、運動・スポーツ種目の「野球」「プール」「テニス」「その他」では体育施設の「サッカー場」が、運動・スポーツ種目の「グラウンド・ゴルフ等」では体育施設の「陸上競技場」が、スポーツ・運動種目の「体育館」では体育施設の「プール」の割合が高くなっています。

② 問16 将来のために充実させるべき体育施設ごとの集計（縦集計）

全体的な傾向を見ると、どの体育施設も、概ね「体育館」と「その他」に関わる運動・スポーツ種目の割合が高くなる傾向にあります。

内訳をみると、将来のために充実させるべき体育施設のうち「野球場」「プール」「ゲートボール場」「体育館」では、「体育館」に関わる運動・スポーツ種目が、体育施設のうち「陸上競技場」「サッカー場」「グラウンド・ゴルフ場」では、「その他」に関わる運動・スポーツ種目が、また回答数が少ないため参考となりますが、体育施設のうち「武道館」では、「サッカー」「武道」「体育館」「その他」に関わる運動・スポーツ種目の割合が高くなっています。

表 公共・学校の体育施設での運動・スポーツ種目 × 本市の将来のために充実させるべき体育施設 (横集計)

問		合 計		問16																															
				陸上競技場				サッカー場				野球場				プール		武道場				ゲートボール場				グラウンド・ゴルフ場				テニスコート				体育館	
		(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)				
問10	1 陸上競技	8	100.0	4	50.0	3	37.5	0	0.0	3	37.5	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	2	25.0	0	0.0	0	0.0	4	50.0						
	2 サッカー	34	100.0	7	20.6	25	73.5	7	20.6	12	35.3	3	8.8	1	2.9	2	5.9	5	14.7	16	47.1														
	6 野 球	10																																	
	7 ソフトボール	10	100.0	5	25.0	9	45.0	13	65.0	4	20.0	0	0.0	0	0.0	1	5.0	1	5.0	10	50.0														
	20 水 泳	27	100.0	6	22.2	13	48.1	4	14.8	18	66.7	1	3.7	1	3.7	1	3.7	4	14.8	13	48.1														
	3 柔 道	1																																	
	4 剣 道	1																																	
	5 弓 道	2	100.0	1	12.5	2	25.0	2	25.0	5	62.5	3	37.5	1	12.5	1	12.5	2	25.0	3	37.5														
	14 空手道	3																																	
	18 少林寺拳法	1																																	
15 ゲートボール	6	100.0	1	16.7	1	16.7	1	16.7	0	0.0	0	0.0	0	0.0	3	50.0	0	0.0	2	33.3															
17 グラウンド・ゴルフ	18																																		
19 ターゲット・バードゴルフ	3																																		
10 ソフトテニス	4																																		
11 テニス	22	100.0	3	11.5	11	42.3	3	11.5	9	34.6	0	0.0	0	0.0	1	3.8	2	7.7	18	69.2	11	52.4	2	9.5	9	42.9									
8 バスケットボール	14																																		
9 バレーボール	26	100.0	12	16.2	26	35.1	17	23.0	32	43.2	3	4.1	5	6.8	7	9.5	13	17.6	58	78.4															
12 バドミントン	15																																		
13 卓 球	19																																		
16 綱 引	4																																		
21 ジョギング・ランニング・ウォーキング	43	100.0	22	26.2	34	40.5	12	14.3	28	33.3	3	3.6	3	3.6	13	15.5	7	8.3	48	57.1															
22 その他	37																																		
合 計	186	100.0	43	23.1	76	40.9	45	24.2	64	34.4	10	5.4	11	5.9	29	15.6	24	12.9	104	55.9															

4. 問14 サービス維持のために見直すべき体育施設 × 問15 体育施設の適正配置で重視すべき視点

注：問14・問15共に回答した人のみで集計しているため、問14・問15各単独の設問時の合計とは数値が異なります。

① 問14 サービス維持のために見直すべき体育施設ごとの集計（横集計）

どのサービス維持のために見直すべき体育施設の条件も、体育施設の適正配置で重視すべき点で1番目に「十分な駐車所の確保できる場所」の割合が最も高くなっています。

次いで概ねどの見直すべき体育施設の条件も、重視すべき視点の2番目または3番目に「運動公園のように多種類の施設を集中配置」か「施設の集中による維持管理の人件費などの経費削減」の割合が高くなっています。

また、サービス維持のために見直すべき体育施設の条件のうち、「施設利用者が地域住民に限定され全市的な利用ができていない」と「その他」では、重視すべき視点として「公共交通機関の利便性が高い場所に配置」の割合も高くなっています。

② 問15 体育施設の適正配置で重視すべき視点ごとの集計（縦集計）

どの体育施設の適正配置で重視すべき視点でも、サービス維持のために見直すべき体育施設の条件として「利用者が少ない」「老朽化が著しい」が1番目か2番目に来ています。

次いで、重視すべき視点として設備・運用・立地に関わる「十分な駐車場尾確保できる場所」「運動公園の用意多種類の施設を集中配置」「夜間照明や音響による近隣住民の負担が少ない場所に配置」「施設の集中による維持管理などの経費削減」では、見直すべき体育施設の条件として「類似公共体育施設が近隣にある」の割合が高くなっています。

また、重視すべき視点として施設の設備・運用に関わる「大きな大会等も開催しやすい同種類の施設を集中配置」「夜間照明や音響による近隣住民の負担が少ない場所に配置」「施設の集中による維持管理などの経費削減」「その他」では、見直すべき体育施設の条件として「一人あたりの維持管理経費型の施設に比べて高い」の割合が高くなっています。

そのほか、重視すべき視点として立地に関わる「大きな大会等も開催しやすい同種類の施設を集中配置」「旧市町村のバランスに配慮した施設配置」「市内全域からの所要時間にあまり格差が生じない場所に配置」「公共交通機関の利便性が高い場所に配置」では、見直すべき体育施設の条件として「施設利用が地域住民に限定され全市的な利用ができていない」の割合が高くなっています。

表 サービス維持のために見直すべき体育施設 × 体育施設の適正配置で重視すべき視点 (縦集計)

	合 計	問15														その他					
		十分な駐車場の確保できる場所		運動公園の運営に多様な施設を集中配置		大きな大会等も開催しやすい同種類の施設を集中配置		旧市町村のバランスに配慮した施設配置		市内全域からの所要時間にあまリ格差が生じない場所に配置		公共交通機関の利便性が高い場所に配置		夜間照明や音響による近隣住民の負担が少ない場所に配置			施設の集中による維持管理の人的費などの経費削減				
		(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)			(人)	(%)		
問14	1 利用者が少ない	461	65.6	324	66.7	177	66.5	103	67.3	135	64.0	112	64.7	148	70.8	110	62.1	181	71.5	12	52.2
	2 老朽化が著しい	413	58.7	302	62.1	170	63.9	86	56.2	123	58.3	108	62.4	115	55.0	117	66.1	133	52.6	12	52.2
	3 類似公共体育施設が近隣にある	197	28.0	142	29.2	85	32.0	42	27.5	58	27.5	49	28.3	60	28.7	51	28.8	86	34.0	5	21.7
	4 学校体育施設が近隣にある	129	18.3	95	19.5	53	19.9	28	18.3	51	24.2	34	19.7	29	13.9	30	16.9	48	19.0	4	17.4
	5 一人あたりの維持管理経費が他の施設に比べ高い	178	25.3	121	24.9	63	23.7	46	30.1	46	21.8	45	26.0	53	25.4	51	28.8	90	35.6	7	30.4
	6 施設利用者が地域住民に限定され全市民的な利用ができていない	194	27.6	127	26.1	72	27.1	47	30.7	64	30.3	56	32.4	73	34.9	41	23.2	67	26.5	2	8.7
	7 民間が運営する同様の施設がある	102	14.5	70	14.4	50	18.8	33	21.6	28	13.3	20	11.6	26	12.4	23	13.0	37	14.6	1	4.3
	8 その他	41	5.8	22	4.5	8	3.0	9	5.9	7	3.3	7	4.0	15	7.2	9	5.1	17	6.7	12	52.2
合 計	703	100.0	486	100.0	266	100.0	153	100.0	211	100.0	173	100.0	209	100.0	177	100.0	253	100.0	23	100.0	

伊賀市公共施設総合管理計画（抜粋）

（５）スポーツ・レクリエーション施設

スポーツ・レクリエーション施設は、屋内スポーツ施設15,035㎡、屋外スポーツ施設1,324㎡、観光・レクリエーション施設3,767㎡、商業施設8,854㎡、合計28,980㎡を保有しており、公共施設最適化計画に基づく取組みによって2015（平成27）年度までに延床面積で0.2%の施設を廃止しました。2015（平成27）年度時点の方針は、継続36%、複合化1%、縮小60%、一部縮小3%となっています。

2050（平成62）年までのライフサイクルコスト（LCC）は平均約5億円／年、内訳は維持管理経費が約2億円、大規模改修費が約2億円、建替え費が約1億円となっています。2020（平成32）年度頃に大規模改修が、2050（平成62）年度頃に建替えが集中するため、約6億円／年から約12億円／年のLCCがかかります。

なお、これまでのスポーツ・レクリエーション施設の最適化によって、2050（平成62）年までの36年間に約1億円（平均約0.03億円／年）のLCCの節減効果を見込んでいます。

図 スポーツ・レクリエーション施設の延床面積の構成比と施設ごとの方向性

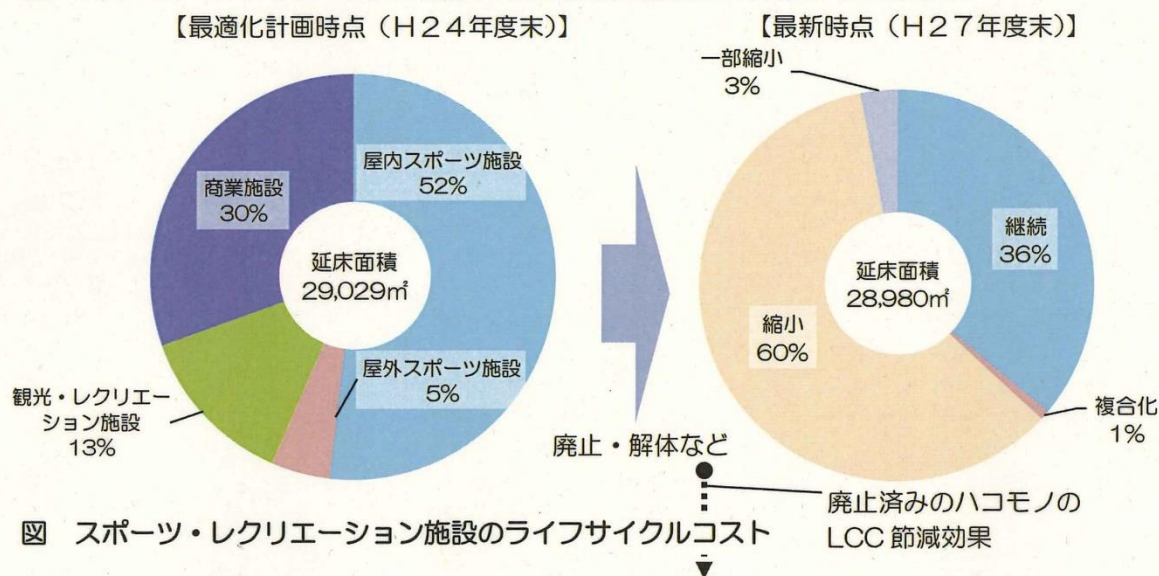


図 スポーツ・レクリエーション施設のライフサイクルコスト

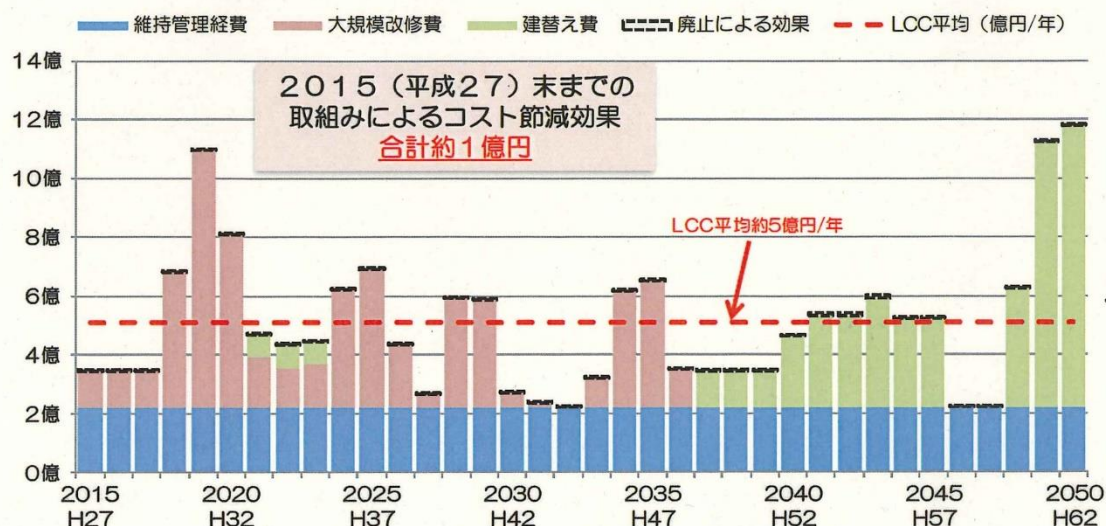
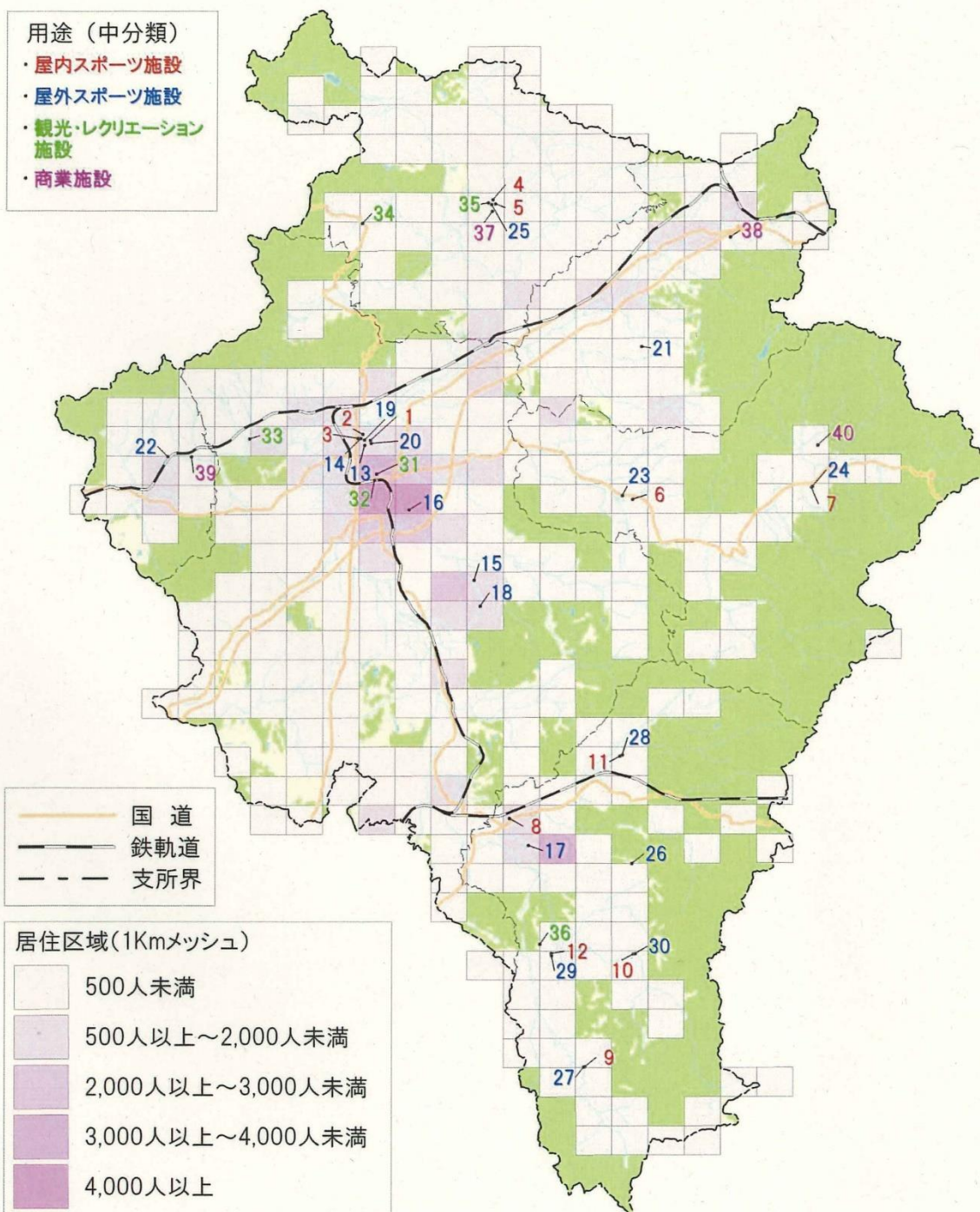


図 スポーツ・レクリエーション施設の配置状況



屋内スポーツ施設

番号	施設名称	番号	施設名称	番号	施設名称
1	上野運動公園スポーツセンター	2	上野運動公園体育館	3	伊賀上野武道館
4	阿山B & G海洋センター	5	阿山第1運動公園(屋内ゲートボール)	6	大山田B & G海洋センター
7	大山田東体育館	8	北部公園体育館	9	青山高尾体育館
10	青山児童屋内体育施設	11	青山上津体育館	12	青山博要体育館

屋外スポーツ施設

番号	施設名称	番号	施設名称	番号	施設名称
13	上野運動公園プール	14	上野運動公園テニスコート	15	ゆめが丘テニスコート
16	上野緑ヶ丘テニスコート	17	青山テニスコート	18	ゆめが丘多目的広場
19	上野運動公園競技場	20	上野運動公園野球場	21	いがまちスポーツセンター
22	島ヶ原運動広場	23	大山田せせらぎ運動公園	24	大山田東グラウンド
25	阿山第2運動公園	26	青山グラウンド	27	青山高尾グラウンド
28	青山上津グラウンド	29	青山博愛グラウンド	30	青山矢持グラウンド

観光・レクリエーション施設

番号	施設名称	番号	施設名称	番号	施設名称
31	だんじり会館	32	伊賀・信楽古陶館	33	岩倉峡公園
34	伊賀焼伝統産業会館	35	阿山ふるさとの森	36	青山ハーモニーフォレスト

商業施設

番号	施設名称	番号	施設名称	番号	施設名称
37	道の駅あやま（阿山交流促進施設）	38	道の駅いが伊賀サービスエリア	39	島ヶ原ふれあいの里
40	伊賀の国大山田温泉				

① スポーツ施設（屋内）の現状と課題及び基本方針

<現状と課題>

- ・ 築30年以上を経過した施設が多く、一部の施設で耐震性が低くなっています。
- ・ 市民一人当たりの体育館の面積が県内14市平均比の135%とやや多くなっている（9ページ）ことから、利用状況を勘案し、地元への譲渡や集約化、学校開放の利用などを検討していくことが求められます。

<公共施設最適化計画などにおける基本方針>

- ・ 上野運動公園体育館や弓道場は、旧上野商業高校へ移転する予定となっています。
- ・ 北部公園体育館は、老朽化しているものの利用が多いことから、規模適正化による再配置などを検討します。
- ・ 安全性に大きな課題のないコミュニティ圏域の体育館については譲渡又は売却貸付を検討し、安全性に課題のある施設は廃止に向けた検討を行います。
- ・ 指定管理者制度^{※1}を活用している施設については、利用実態に応じて適宜契約の見直しを検討する必要があります。
- ・ 現行の使用料又は減免利用の見直しを図り、受益者負担の適正化を検討する必要があります。
- ・ 施設の更新にあたっては、PFIなど民間資本による整備手法などが考えられます。

② スポーツ施設（屋外）の現状と課題及び基本方針

<現状と課題>

- ・ 市内に複数あるテニスコートやグラウンド、プールなどは、類似・重複施設などの解消を検討していくことが求められます。

<公共施設最適化計画などにおける基本方針>

- ・ 機能別に利用圏域区分による施設の位置づけを明確にするとともに、近隣施設の状況、市全体のバランス、民間の類似施設のバランス、利用状況、老朽度などを総合的に検討し、機能移転など適正配置を図ります。

^{※1} 指定管理者制度とは、これまで公共団体や第三セクターに限られていたハコモノなどの管理を、民間企業やNPOなどに委ねることを可能にした制度です。

- ・ 地域の利用者に限定されているコミュニティ圏域のグラウンドについては、公の施設としての用途を廃止のうえ、譲渡又は売却貸付などを検討します。
- ・ 市内に複数あるテニスコートやグラウンドなどは、学校開放による施設利用を視野に入れ、機能ごとに今後のあり方を検討します。

③ 観光・レクリエーション施設の現状と課題及び基本方針

＜現状と課題＞

- ・ 市役所本庁舎の移転に伴う、まちなかの賑わい創出に向けた周辺施設などの具体的な方針を策定していくことが求められます。

＜公共施設最適化計画などにおける基本方針＞

- ・ 収益性向上や多様な活用が見込める施設については、施設の譲渡を含め民営化を進めていきます。
- ・ 耐震性が無く、老朽化している施設については、他施設への機能移転を検討します。
- ・ 来館者数の増加に向けた取組みや、現行の使用料の見直しを図り、受益者負担の適正化を検討します。
- ・ 第2期中心市街地活性化基本計画などに基づき、上野地区の観光施設については、文化施設との連携による回遊性の向上など、周辺施設と一体で観光戦略を検討します。
- ・ 2016（平成28）年3月に、伊賀市の賑わい創出検討協議会から提出された「伊賀市の賑わい創出ランドデザイン」に基づき、具体的方針を策定します。

④ 商業施設の現状と課題及び基本方針

＜現状と課題＞

- ・ 温泉施設は、民間事業者の参入などの影響により、利用者数の減少傾向が続いていることから、収支改善や利用者の向上などの経営改善が求められます。
- ・ 道の駅については、独立採算が可能となるような運営が求められます。

＜公共施設最適化計画などにおける基本方針＞

- ・ 温泉施設については、市の財政負担軽減を図ることを考慮し、売却又は貸付などを含めた縮小の方向性について検討しています。
- ・ 収益性向上や多様な活用が見込める施設については、施設の譲渡を含め民営化を進めていきます。

表 対象施設の方向性と用途別目標及び用途別基本方針④

施設用途類型		地区	施設名称	延床面積	建築年度	耐震性	施設ごとの方向性	現在の用途別面積	用途別縮減目標	目標達成後の用途別面積				
大分類	中分類													
スポーツレクリエーション施設	屋内スポーツ施設	上	上野運動公園スポーツセンター	491㎡	1973年度	調査予定	縮小	15,035㎡	52%	7,235㎡				
		上	上野運動公園体育館	1,993㎡	1980年度	無	縮小							
		上	伊賀上野武道館	1,472㎡	1983年度	有	縮小							
		阿	阿山B & G海洋センター	2,654㎡	1989年度	有	継続							
		阿	阿山第1運動公園(屋内ゲートボール)	1,452㎡	1983年度	有	継続							
		大	大山田B & G海洋センター	2,594㎡	1988年度	有	継続							
		大	大山田東体育館	923㎡	1994年度	有	縮小							
		青	北部公園体育館	624㎡	1962年度	無	一部縮小							
		青	青山高尾体育館	741㎡	1988年度	有	縮小							
		青	青山児童屋内体育施設	572㎡	1982年度	無	縮小							
		青	青山上津体育館	742㎡	1982年度	有	縮小							
		青	青山博愛体育館	787㎡	1989年度	有	縮小							
		用途別の基本方針												
	・安全性に大きな課題のないコミュニティ圏域の体育館については、譲渡又は貸付売却する。安全性に課題のある施設は、廃止に向けた検討を行う。 ・指定管理者制度を活用している施設については、利用実態に応じて適宜契約の見直しを検討する。 ・現行の使用料または減免利用の見直しを図り、受益者負担の適正化を検討する。 ・施設の更新にあたっては、PFIなど民間資本による整備手法などを検討する。 ・老朽化している上野運動公園体育館や弓道場などは、旧上野商業高校の体育館へ移転する。 ・老朽化しているものの、利用が多い北部公園体育館は、規模適正化による再配置などを検討する。													
	屋外スポーツ施設	上	上野運動公園 プール	0㎡	1950年度	-	縮小	1,373㎡	7%	1,273㎡				
		上	上野運動公園テニスコート	36㎡	1980年度	-	縮小							
		上	ゆめが丘テニスコート	0㎡	1997年度	-	継続							
		上	上野緑ヶ丘テニスコート	0㎡	1956年度	-	縮小							
		青	青山テニスコート	0㎡	-	-	複合化							
		上	ゆめが丘多目的広場	121㎡	2000年度	有	継続							
		上	上野運動公園競技場	399㎡	1975年度	調査予定	継続							
		上	上野運動公園野球場	171㎡	1963年度	調査予定	継続							
		伊	いがまちスポーツセンター	331㎡	1992年度	有	継続							
		島	島ヶ原運動広場	0㎡	2007年度	-	縮小							
		大	大山田せせらぎ運動公園	100㎡	1981年度	無	縮小							
		大	大山田東グラウンド	0㎡	-	-	縮小							
		阿	阿山第2運動公園	0㎡	1983年度	-	継続							
		青	青山グラウンド	216㎡	1997年度	有	継続							
		青	青山高尾グラウンド	0㎡	-	-	縮小							
		青	青山上津グラウンド	0㎡	-	-	縮小							
		青	青山博愛グラウンド	0㎡	-	-	縮小							
		青	青山矢持グラウンド	0㎡	-	-	縮小							
		用途別の基本方針												
		・機能別に利用圏区分による施設の位置づけを明確にするとともに、近隣施設の状況、市全体のバランス、民間の類似施設のバランス、利用状況、老朽度などを総合的に検討し、機能移転など適正配置を図る。 ・地域の利用者に限定されているコミュニティ圏域のグラウンドについては、公の施設としての用途を廃止のうえ、譲渡又は貸付売却する。 ・市内に複数あるテニスコートやグラウンドなどは、学校開放による施設利用を視野に入れ、機能ごとに今後のあり方を検討する。												
観光レクリエーション施設		観光レクリエーション施設	上	だんじり会館	1,499㎡	1989年度	有				縮小	3,767㎡	72%	1,067㎡
	上		伊賀・信楽古陶館	211㎡	1977年度	無	複合化							
	上		岩倉峽公園	249㎡	1992年度	有	一部縮小							
	阿		伊賀焼伝統産業会館	483㎡	1990年度	有	継続							
	阿		阿山ふるさとの森	937㎡	1995年度	有	縮小							
	青		青山ハーモニーフォレスト	389㎡	2005年度	有	継続							
	用途別の基本方針													
・収益性向上や多様な活用が見込める施設については、施設の譲渡を含め民営化を進める。 ・耐震性が無く、老朽化している施設については、他施設への機能移転を検討する。 ・来館者数の増加に向けた取組みや、現行の使用料の見直しを図り、受益者負担の適正化を検討する。 ・上野地区の観光施設については、文化施設との連携による回遊性の向上など、周辺施設と一体で観光戦略を検討する。														
商業施設	商業施設	阿	道の駅あやま(阿山交流促進施設)	951㎡	2003年度	有	継続	8,854㎡	81%	1,654㎡				
		伊	道の駅いが伊賀サービスエリア	680㎡	2005年度	有	継続							
		島	島ヶ原ふれあいの里	4,056㎡	1994年度	有	縮小							
		大	伊賀の国大山田温泉	3,167㎡	1998年度	有	縮小							
用途別の基本方針														
・収益性向上や多様な活用が見込める施設については、施設の譲渡を含め民営化を進める。														